

平成 30 年 3 月 30 日  
中部地方整備局

## 平成30年度 中部地方整備局関係予算の概要

平成 30 年度中部地方整備局関係予算の配分が決定しました。  
なお、本件について、ブリーフィングを行います。

### 1. 添付資料

平成 30 年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局HPにも掲載されております。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/h30.htm>

### 2. ブリーフィング

日時: 平成 30 年 3 月 30 日(金) 16:00~

場所: 中部地方整備局 3 階大会議室

名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

### 3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、  
静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、  
飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那市記者クラブ、  
塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、木曽合同庁舎記者室

### 4. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局

●ブリーフィングについて

広報広聴対策官 中村 朋弘

電話 052-953-8110

●中部地方整備局関係予算の概要について

< 総 括 >	企 画 課 長	草野 真史	電話	052-953-8127
	会 計 課 長	佐々木 源	電話	052-953-8136
< 公園関係 >	都 市 整 備 課 長	内藤 正仁	電話	052-953-8573
< 住宅関係 >	住 宅 整 備 課 長	畠 裕幸	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	建 設 専 門 官	渡邊 伸也	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道 路 計 画 課 長	大谷 江二	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港 湾 計 画 課 長	板生 考司	電話	052-209-6321
< 海岸関係 >	建 設 専 門 官	渡邊 伸也	電話	052-953-8148
	港 湾 計 画 課 長	板生 考司	電話	052-209-6321
< 官庁営繕関係 >	計 画 課 長	野崎 教之	電話	052-953-8185



# 平成30年度 中部地方整備局関係予算の概要



平成30年3月

国土交通省中部地方整備局



# 平成30年度 中部地方整備局関係予算の概要

## 目 次

1. 平成30年度中部地方整備局関係予算の基本方針	・・・・・	P. 1
2. 平成30年度中部地方整備局関係予算の配分額	・・・・・	P. 4
3. 実施事例		
3-1. 実施事例（位置図）	・・・・・	P. 5
3-2. 整備事例（個表）	・・・・・	P. 7
3-3. 施策事例（個表）	・・・・・	P. 47
4. 平成30年度の道路調査の見通しについて	・・・・・	P. 49
5. 県別の整備箇所事例一覧	・・・・・	P. 50

# 1. 平成30年度中部地方整備局関係予算の基本方針 <中部の目指すべき方向>

中部圏は、日本経済を牽引する「ものづくり」産業が集積する地域であり、文化・歴史・観光面でもポテンシャルが高い地域です。この中部圏の更なる発展に向け、信頼性の高い道路ネットワークや豊かで住みやすい地域づくりなどが求められています。

一方、切迫する南海トラフ巨大地震や近年頻発する風水害等への対応が急務であることから、施設の耐震化や総合的な治水対策、津波・高潮対策なども重要です。

中部地方整備局においては、中部圏の社会資本整備を重点的・効果的かつ効率的に推進するため、概ね5カ年の「中部ブロックにおける社会資本整備重点計画」を踏まえ、以下の4つの基本戦略を展開していきます。

なお、こうしたハード整備にソフト施策を一体化させ、ストック効果の最大化を図るなど、生産性の一層の向上に取組みます。

## 【戦略1】ものづくり中枢圏としての更なる成長を支える国土基盤の強化

■現下の低金利状況を活かし、財政投融資を活用して、東海環状自動車道の整備加速による生産性の向上を行います。また、事業中区間として、大安IC(仮称)～東員IC間(延長6.4km)を平成30年度開通します。

■ものづくり産業を支える港湾機能強化として名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業では岸壁改良工事を進めます。

■賑わいの場の創出として、国営木曽三川公園では桜堤サブセンター(岐阜県羽島市)における敷地造成などを進めます。



東海環状自動車道  
大安 IC(仮称)工事状況



名古屋港飛島ふ頭地区  
ふ頭再編改良事業



国営木曽三川公園  
桜堤サブセンター(イメージ図)

## 【戦略2】戦略的なインフラメンテナンスの推進

■インフラ長寿命化計画を踏まえ、戦略的な維持管理を進めるため、インフラメンテナンスの推進を図るとともに、清水港日の出地区岸壁改良事業では岸壁の老朽化対策などを進めます。



橋梁の点検状況

## 【戦略3】南海トラフ地震や頻繁・激甚化する自然災害などに備えた安全・安心の確保

■治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、新丸山ダム・設楽ダムでは引き続き本体着工に向けた転流工などを進めます。



設楽ダム建設事業(イメージ図)

■やはぎ矢作ダムの放流設備増設によって、治水機能の増強を行う矢作ダム再生事業の実施計画調査段階に新規着手します。

■道路の多重性・代替性の確保として、三遠南信自動車道の佐久間IC(仮称)～東栄IC(仮称)間(延長6.9km)を平成30年度開通します。また、防災を目的とした無電柱化として、国道1号静岡国吉田地区などの電線共同溝整備を進めます。

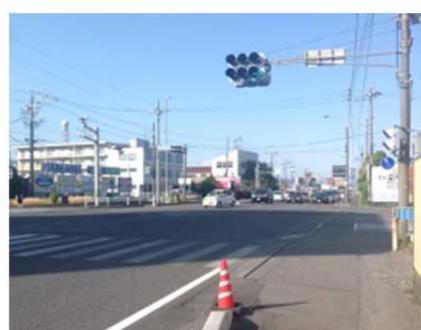


矢作ダム再生事業(イメージ図)

■総合的な津波・高潮対策として、駿河海岸では「粘り強い海岸堤防」の整備、津松阪港海岸では既設堤防の老朽化対策及び耐震対策を進めます。



三遠南信自動車道  
佐久間道路・三遠道路



国道1号 静岡国吉田地区  
電線共同溝事業



津松阪港海岸保全施設整備事業

## 【戦略4】住みやすい中部地域の形成と自然と共生した国土形成

■矢作川では、自然豊かな河川空間を活かした水辺整備とまちづくりが連携して、賑わいのある水辺空間の創出を図るために、豊田市白浜地区水辺整備に新規着手します。



水辺空間の活用(イメージ図)

■交通安全対策として、国道1号浜松西部地区などの事故対策、国道41号井尻地区などの歩道整備、国道42号御浜紀宝地区などの自転車通行空間整備などを推進します。



国道42号 御浜紀宝地区  
自転車通行空間整備事業

■新たなまちづくり空間・賑わいを創出するため、高山地方合同庁舎の新設工事を実施します。

## ＜平成30年度予算の基本方針＞

### （全体方針）

- 平成30年度国土交通省関係予算については、水害・土砂災害や巨大地震等に備えるための防災・減災、老朽化対策、「成長と分配の好循環」の拡大に向けて、人口減少時でも生産性向上による持続的な経済成長を実現するなど、我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「国民の安全・安心の確保」、「生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化」及び「豊かで活力のある地域づくり」などに重点化するための経費並びに公共工事の施工時期の平準化等のための国庫債務負担行為を計上したところです。
- また、今後の社会資本整備に当たっては、既存施設の活用を図りつつ、生産性向上をはじめとしたストック効果が最大限発揮されるよう戦略的な取組を進めることにより、我が国の持続的発展を支えていくことが重要です。  
このため、国土交通省では、平成30年を生産性革命「深化の年」と位置付け、これまでに実施してきた個々の取組を更に強化するとともに、生産性革命の基礎にある「小さなインプットでも、できるだけ大きなアウトプットを生み出す」という考え方を施策全般に浸透させていくこととしています。
- 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、地域の実情や要望、社会資本のストック効果等を勘案し配分を行います。

## ＜中部地方整備局関係予算の配分額＞

配分事業費 7, 453億円

### 内 訳

歳出 :	直轄	2, 779億円
	補助等	4, 674億円

国庫債務負担行為（ゼロ国債） 97億円

（注）計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

## 2. 平成30年度中部地方整備局関係予算の配分額

### (1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区分	30年度				29年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	45,303	16,805	62,107	4,070	45,111	16,699	61,810
海 岸	3,372	0	3,372	300	3,379	0	3,379
道 路	128,740	63,221	191,961	5,322	148,969	58,592	207,561
港 湾	16,242	0	16,242	0	19,472	0	19,472
都 市 水 環 境 備 整	691	864	1,554	50	157	904	1,060
国 営 公 園 等	2,010	0	2,010	0	2,042	0	2,042
官 厅 営 繕	400	277	677	0	0	443	443
合 計	196,757	81,166	277,923	9,742	219,129	76,638	295,767

### (2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区分	30年度			29年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	5,712	0	5,712	4,860	0	4,860
海 岸	0	0	0	0	0	0
道 路	13,844	0	13,844	7,223	0	7,223
港 湾	2,638	0	2,638	2,429	0	2,429
空 港 整 備	62	0	62	72	0	72
住 宅 対 策	4,980	12,555	17,535	1,209	11,277	12,486
市 街 地 整 備	4,192	0	4,192	7,209	0	7,209
都 市 水 環 境 備 整	0	0	0	0	0	0
下 水 道	0	0	0	0	0	0
国 営 公 園 等	0	0	0	0	0	0
小 計	31,428	12,555	43,983	23,002	11,277	34,279
社 会 資 本 整 備 総 合 交 付 金	213,086	0	213,086	236,085	0	236,085
防 災 ・ 安 全 交 付 金	210,284	0	210,284	205,155	0	205,155
合 計	454,798	12,555	467,353	464,242	11,277	475,519

### (3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	30年度			29年度		
	補助	交付金	計	補助	交付金	計
岐阜県	8,546	63,400	71,946	5,200	64,220	69,421
静岡県	16,304	111,417	127,721	12,524	112,242	124,764
愛知県	14,614	187,045	201,659	11,329	208,931	220,260
三重県	4,520	61,507	66,028	5,226	55,848	61,074
合 計	43,983	423,370	467,353	34,279	441,240	475,519

(注1)数字は、事業費ベースです。

(注2)国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計であります。

(注3)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4)当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

### 3. 実施事例(位置図)

■ 河川関係	■ 道路関係
■ 港湾関係	■ 海岸関係
■ 公園関係	■ 官庁営繕関係

かみあそう  
■ 上麻生防災(岐3)  
H30新規事業化

みずなみえな  
■ 瑞浪恵那道路(恵那工区)(岐3)  
H30新規事業化

しんまるやま  
■ 新丸山ダム建設事業(岐1)

とうかい  
■ 東海環状自動車道(岐2, 三2)

H30/H31一部開通予定

H36一部開通見込み(用地取得等が順調な場合)

きそさんせん  
■ 国営木曽三川公園(国営公園整備事業)  
(岐4 ※岐阜・愛知・三重を記載)

きんき  
■ 近畿自動車道伊勢線

なごや  
名古屋環状2号線

(名古屋西～飛島)(愛4)

H32全線開通予定

ちゅうせい  
■ 国道23号 中勢道路 (三2)

H30一部開通予定

つまつさか  
■ 津松阪港海岸  
直轄海岸保全施設  
整備事業(三3)

くまのおわせ  
■ 国道42号  
熊野尾鷲道路Ⅱ期  
くまの  
熊野道路(三2)

みやがわ  
■ 宮川河川改修事業(三1)  
せたがわ かわさき  
[勢田川・河崎地区]

なごや とびしま  
■ 名古屋港 飛島ふ頭地区  
ふ頭再編改良事業(愛5)

みずぼうさい  
■ 水防災意識社会再構築ビジョン(施1)

■ トラック・バス渋滞ポイントにおける対策(施2)

するが  
■ 駿河湾  
保全

■ 国道1  
H30-

ちゅうぶ  
中部縦貫自動車道

## 国道158号 高山清見道路(岐2)

たかね吉

## ■ たかやま 高山地方合同庁舎(岐5)

## やはぎ 矢作ダム再生事業(愛1)

## 大作タク再主事 H30新規事業化

## てんりゅうがわ

## ■天竜川水系直轄砂防事業(長1)

## 凡 例



## ■ 国道153号 伊南バイパス（長2） H30一部開通予定

# ■ 三遠南信自動車道( 静3, 愛4, 長2) H30/H31 一部開通予定

## ■富士山直轄砂防事業(山1) ※静岡県を含む

四、例



## ■ 伊豆縦貫自動車道(静3) H30一部開通予定

## 由比地区直轄地すべり 対策事業（静2）

しみず 港 ひ で 日の出地区崖壁改修事業(静4)

※ 予算状況等により開通時期が遅れることがあります

# 岐阜県

## 個表一岐 1

【事業主体：国】

### しんまるやま 新丸山ダム建設事業

平成30年度当初： 79. 6億円

#### 1. 事業の必要性及び概要

木曽川は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曽川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

#### 2. 事業箇所

右岸：岐阜県加茂郡八百津町  
左岸：岐阜県可児郡御嵩町  
(木曽川水系木曽川)



#### 3. 平成30年度実施予定内容及び現在の実施状況

早期の本体着工に向けて引き続き転流工を整備するとともに、付替道路工事を推進させます。



新丸山ダム完成予想図



転流工イメージ図



転流工施工状況



付替国道418号（潮見地区）

#### 4. 整備効果

##### ○重点：国民の安全・安心の確保・・・洪水被害の軽減

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水が越水したことにより、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。新丸山ダムの整備と合わせ河川改修することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となる。



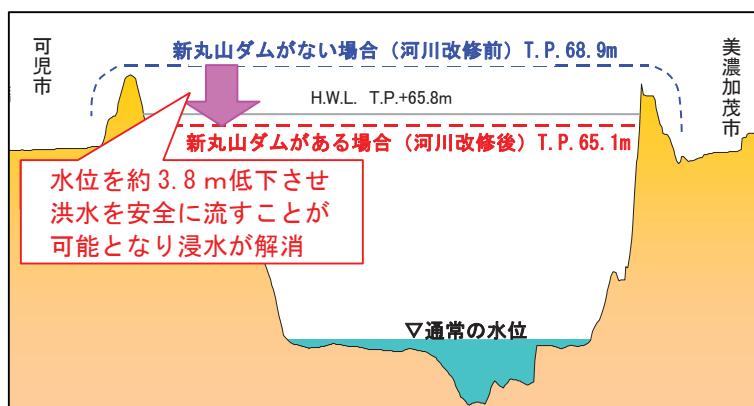
昭和58年9月洪水での浸水範囲



写真1:軒下まで浸水した家屋



写真2:消防団員により救出される被災者



昭和58年9月洪水と同規模洪水が発生した場合の治水効果  
(河口から67.0km付近)



写真3:河川敷に置かれた水害廃棄物  
※写真1, 2, 3はS58. 9出水の被災状況

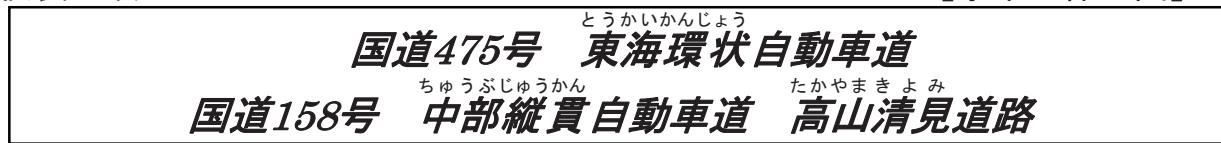
##### ○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・移動時間の短縮

約40分短縮

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分  
付替国道418号（丸山バイパス）経由：約35分





平成30年度当初【東海環状自動車道】：478.0億円

【岐阜県分】：325.2億円】

【高山清見道路】：39.2億円

### 1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの高規格幹線道路です。
- 高山清見道路は、高山市内と東海北陸自動車道との直結による高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号現道の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された高規格幹線道路です。



### 2. 事業箇所

■東海環状自動車道	：愛知県豊田市～三重県四日市市
■高山清見道路	：岐阜県高山市清見町～高山市丹生川町

### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

#### ■東海環状自動車道

【関～養老（延長44.2km）】【養老～北勢（延長18.0km うち岐阜県9.0km）】

- 関広見IC～高富IC（仮称）間（延長8.4km）の橋梁工事等を推進。  
《平成31年度開通予定※1》
- 大野・神戸IC（仮称）～大垣西IC間（延長7.6km）の橋梁工事等を推進。  
《平成31年度開通予定※1》

※1：予算状況等により開通時期が遅れることがある

- 高富IC（仮称）～大野・神戸IC（仮称）間（延長19.2km）の用地買収、橋梁・トンネル工事等を推進。  
《平成36年度開通見込み※2》

※2：財投活用による整備加速箇所※3（用地取得等が順調な場合）

※3：このほかに、土岐JCT～美濃加茂IC間の速度低下箇所に付加車線を設置

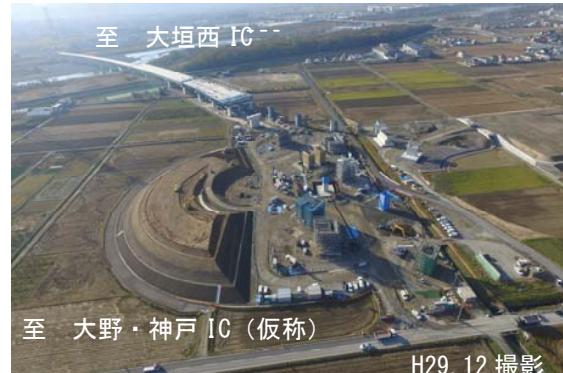
- 養老IC（仮称）～北勢IC（仮称）間（延長18.0km）の改良・橋梁下部工事に着手。（岐阜県）

#### ■高山清見道路【飛騨清見IC～丹生川IC（延長24.7km）】

- 高山IC～丹生川IC（仮称）間（延長9.5km）の用地買収、橋梁工事等を推進。



H31年度開通に向け橋梁工事等が進む  
東海環状自動車道 武儀川橋付近



H31年度開通に向け橋梁工事等が進む  
東海環状自動車道 大野・神戸IC(仮称)付近

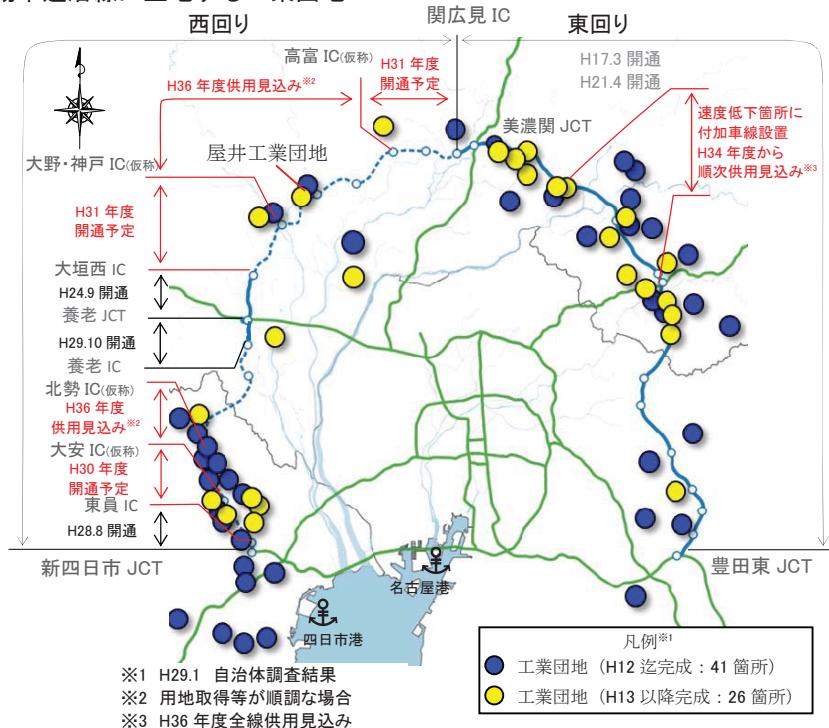
#### 4. 整備効果

○重点：生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化・・・企業立地の促進

#### 民需誘発！東海環状自動車道沿線に開通を見据えた企業立地が促進！！

- 東海環状自動車道（東回り）全線工事着工後、沿線地域における工業団地の企業立地数は約150件増、企業雇用者数は約3.6万人増、製造品出荷額は約8兆円増
- 東海環状自動車道（西回り）においても開通を見据えた、地域開発が活性化

#### ■東海環状自動車道沿線に立地する工業団地



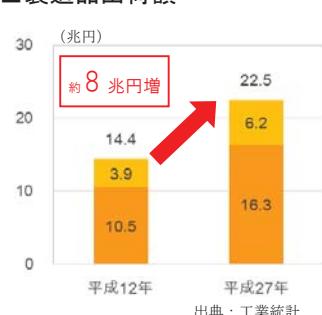
#### ■工業団地の企業立地数



#### ■工業団地に立地した企業雇用者数



#### ■製造品出荷額

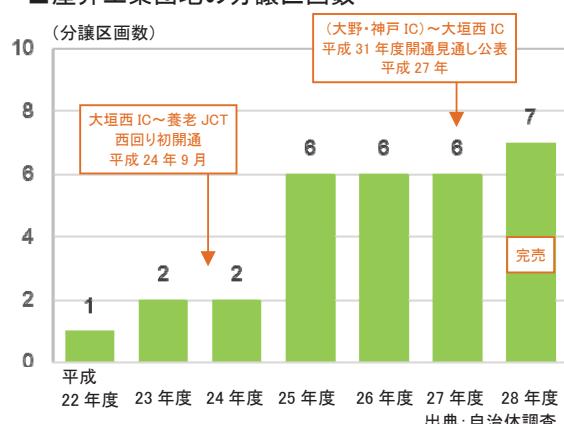


■西回り沿線自治体 東回り沿線自治体

#### ■開通を見据え完売した屋井工業団地



#### ■屋井工業団地の分譲区画数



**国道19号 瑞浪恵那道路（恵那工区）**  
**国道41号 上麻生防災**

平成30年度当初【瑞浪恵那道路（恵那工区）】：0.5億円

【上麻生防災】：0.8億円

### 1. 事業の必要性及び概要

- 瑞浪恵那道路は、現道19号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保ならびに、沿線の地域開発支援を目的に計画された道路です。
- 上麻生防災は、危険性が高い現道41号の落石・崩壊等への対策及び異常気象時通行規制区間の解消を目的に計画された局部改良事業です。



### 2. 事業箇所

■瑞浪恵那道路（恵那工区）

：岐阜県恵那市武並町～恵那市長島町

■上麻生防災

：岐阜県加茂郡七宗町川並～加茂郡白川町河岐

### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

■瑞浪恵那道路（恵那工区）【恵那市武並町～恵那市長島町（延長4.3km）】

- 平成30年度新規事業化
- 測量及び関係機関協議を推進。

■上麻生防災【加茂郡七宗町川並～加茂郡白川町河岐（延長6.2km）】

- 平成30年度新規事業化
- 測量、設計及び関係機関協議を推進。



中央自動車道とJR中央線に挟まれ併走する国道19号  
 瑞浪恵那道路（恵那工区）H30新規事業化



急峻な斜面と飛驒川に挟まれて縦走する国道41号  
 上麻生防災 H30新規事業化

#### 4. 整備効果

○重点：生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化・・・物流対策の推進

- 災害や事故等、通行止め時の遅れ時間を大幅に減少し、幹線物流の速達性と生産性を向上し、**持続的な産業活動を支援**
- 時間圏域の拡大により、リニア中央新幹線開業を見据えた**地域の広域観光連携を支援**

##### ■瑞浪恵那道路 位置図



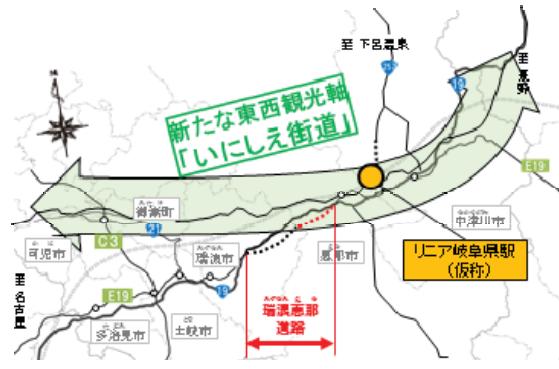
通常時 28分

通行止時 123分

■中央道通行止時と通常時の  
恵那西工業団地→瑞浪IC間の所要時間

※[通常時] H29.10月平日17:30~18:00  
〔通行止時〕 H29.8.19 17:30~18:00

##### ■リニアを活かした東西観光軸



首都圏（品川駅）

現在 180分

リニア開業後  
(H39予定) 34分

岐阜県駅（仮称）

目的地

■リニア開業に伴う所要時間

○重点：国民の安全・安心の確保・・・事前通行規制区間の回避

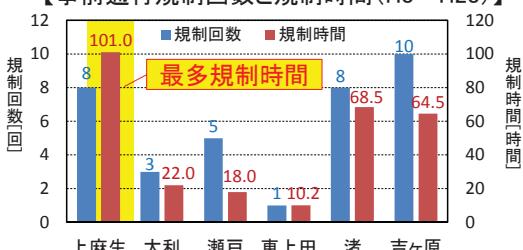
##### 地域の安全・安心を支える

- 上麻生地域は、国道41号の中でも事前通行規制や災害による通行止めが多い地域
- 国道41号上麻生防災の整備により、**地域の安全・安心を確保**

##### ■岐阜県内の国道41号の事前通行規制区間



##### 【事前通行規制回数と規制時間(H8~H28)】



【写真】土砂流出(H11.9.15)

個表一岐4 ※岐阜県、愛知県、三重県を記載

【事業主体：国】

きそさんせん  
**国営木曽三川公園（国営公園整備事業）**

平成30年度当初 : 7.0億円

(岐阜県分: 5.1億円、愛知県分: 0.3億円、三重県分: 1.6億円)

### 1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曽三川（木曽川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手しています。また、昭和62年10月に木曽三川公園センターを一部供用開始して以来、順次整備エリアを拡げ、平成27年度には、部分開園を含む13拠点の全てを開園（H30年3月30日現在、約288ha）し、平成29年10月で開園30周年を迎えました。近年の年間入園者は、約1,000万人であり、全国の国営公園の中で入場者数が一番多い公園です。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

平成30年度は、桜堤サブセンターにおける敷地造成を始めとして、桑名七里の渡し公園やワイルドネイチャープラザ等において整備を推進し、各拠点の早期完成を目指します。



### 2. 事業箇所

岐阜県羽島市桑原町、海津市海津町、愛知県稻沢市祖父江町、三重県桑名市住吉町 等

### 3. 平成30年度事業予定内容

- ・桜堤サブセンター 敷地造成
- ・ワイルドネイチャープラザ 用地取得
- ・桑名七里の渡し公園 園路広場整備 等

#### 国営木曽三川公園の主な整備箇所

##### 桜堤サブセンター（岐阜県羽島市）



敷地造成

##### 中央水郷地区



##### ワイルドネイチャープラザ（愛知県稻沢市）



用地取得

##### 桑名七里の渡し公園（三重県桑名市）



園路広場整備

#### 4. 整備効果

○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・賑わいの場の創出

国営木曽三川公園における年間入園者数が、約1,000万人

◆地域主催のイベントの実施などにより地域の活力・魅力づくりに貢献。

◆防災訓練での利用など地域の防災・減災機能の強化に貢献。

#### 地域の活力・魅力づくり

○近年の年間入園者数は、約1,000万人。(全国の国営公園の中で第1位)

○国営公園を利用したイベント開催により、地域の活力・魅力づくりに貢献。



木曽三川交流レガッタ（海津市・長良川サービスセンター）



稻沢サンドフェスタ（稻沢市・ワイルドネイチャープラザ）



リバーサイドフェスタ（一宮市・138タワーパーク）

#### 地域の防災・減災機能の強化

○地域防災計画における一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献。



防災関連イベント（江南市・フラワーパーク江南）



公園を利用した防災訓練（愛西市・東海広場）



公園を利用した防災訓練（羽島市・桜堤サブセンター）

#### 環境保全意識の向上

○河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備や環境を活かした環境教育プログラム等を開催することで、地域の環境保全意識の向上に貢献。



bingoゲームを用いた自然観察会（各務原市・河川環境楽園）



自然体験プログラム（各務原市・かさだ広場）



水郷俱楽部 田植え体験（海津市・アクアワールド水郷パークセンター）

たかやま  
**高山地方合同庁舎（庁舎整備）**

平成30年度当初：4.0億円

**1. 事業の必要性及び概要**

既存庁舎の耐震性能不足及び老朽化による不具合の解消を図るとともに、にぎわいの創出等により地域の活性化に積極的に貢献できるように高山地方合同庁舎の整備を行います。

**2. 事業箇所**

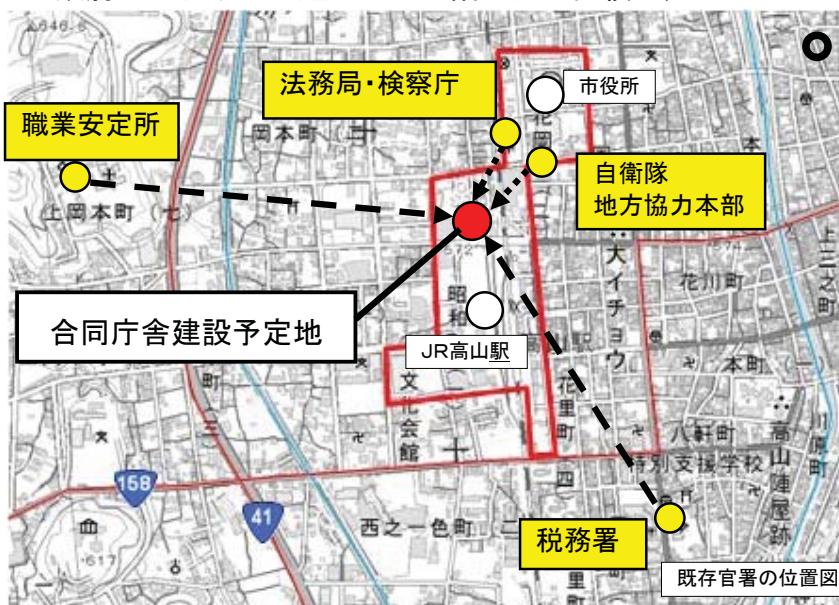
たかやま  
岐阜県 高山市

**3. 平成 30 年度実施予定内容及び現在の実施状況**

合同庁舎の新設工事を今年度から実施します。

**【整備概要】**

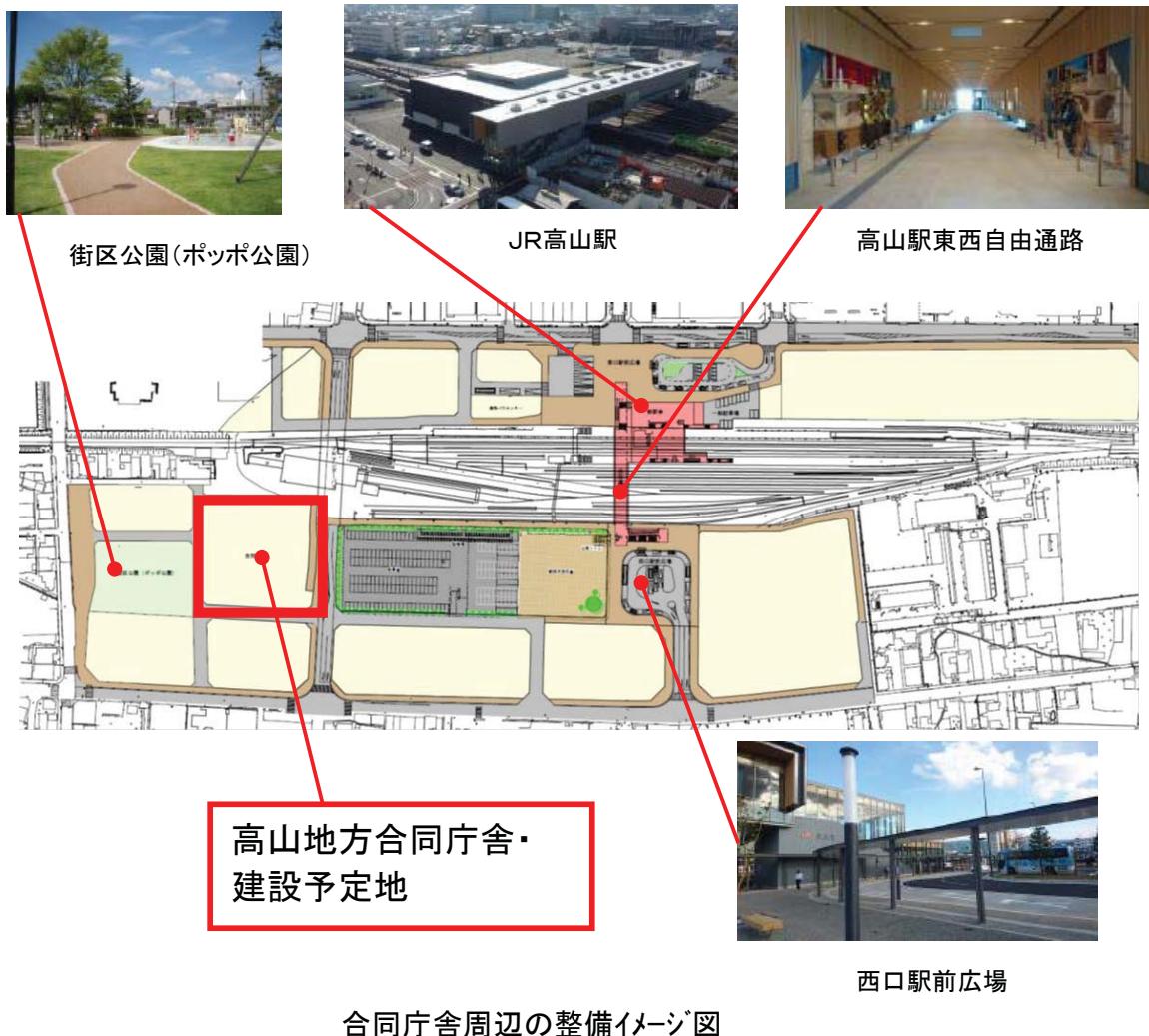
鉄筋コンクリート造 地上 4 階 延べ面積 5, 818 m<sup>2</sup>



#### 4. 整備効果

##### ○重点：国民の安全・安心の確保

- ・高山地方合同庁舎の整備により、入居予定官署の耐震性能不足、経年による老朽、狭隘等の問題を解消し、利用者の安全・安心と利便性を確保。
- ・合同庁舎は高山駅を中心としたシビックコア地区整備計画において主要な施設に位置付けられており、市と連携し、にぎわいが創出され、地域の個性を尊重した魅力あるまちづくりに貢献。



# 静岡県

個表一静1

【事業主体：国】

## するが 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業

平成30年度当初：7.9億円

### 1. 事業の必要性及び概要

駿河 海岸は、大井川からの土砂供給量の減少や大井川港等による沿岸漂砂の遮断等により海岸侵食が顕著となっており、過去幾度となく高潮災害に見舞われています。このため、離岸堤等の整備を実施し、早期の高潮・侵食に対する安全性の向上を図ります。

また、当海岸は南海トラフ巨大地震等に伴う津波により甚大な被害が想定されることから、L1津波を超える津波に対しても減災効果を発揮する粘り強い構造の堤防等の整備を推進します。

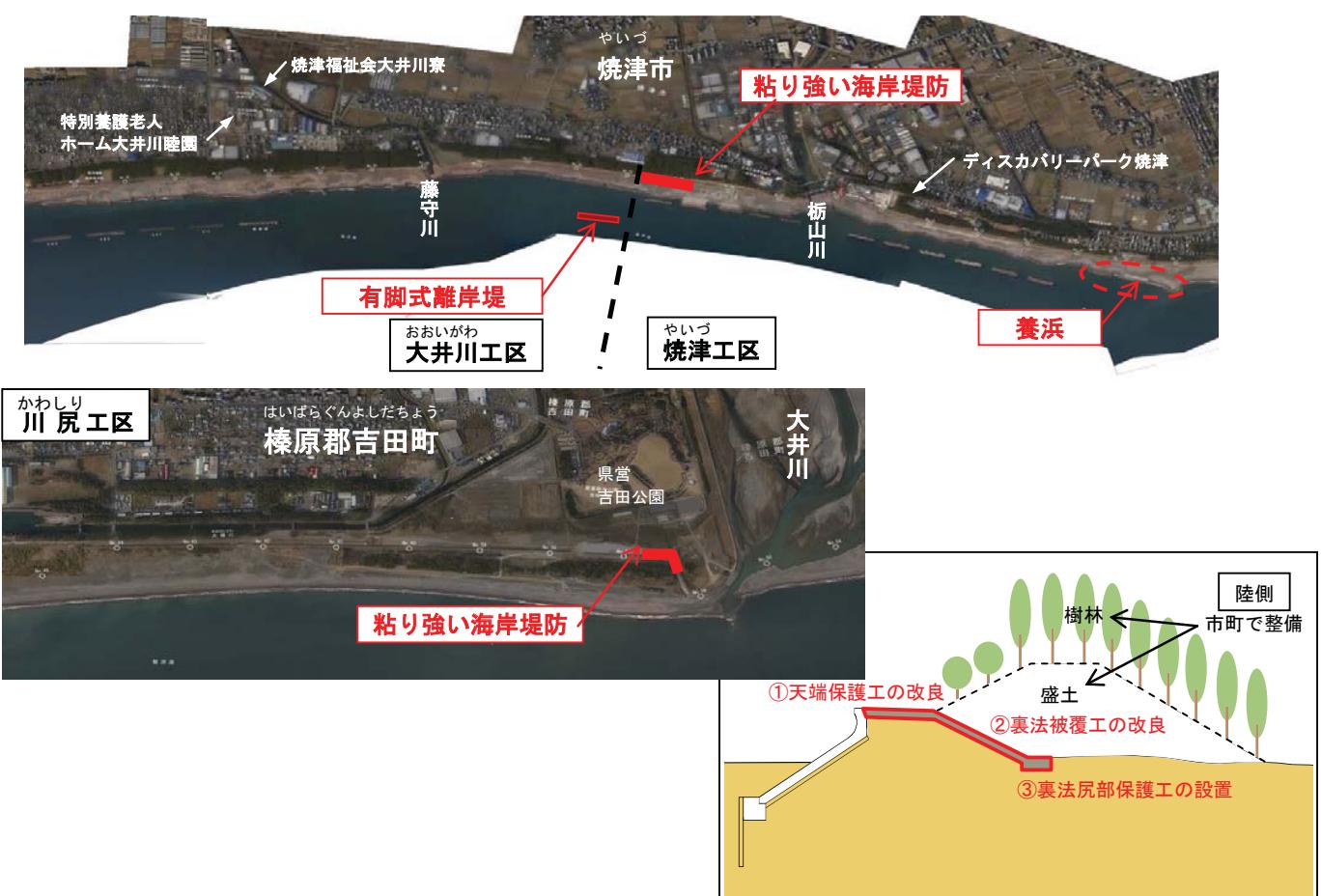
### 2. 事業箇所

静岡県 焼津市、吉田町



### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、有脚式離岸堤、養浜工を進めるとともに、粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進。



粘り強い構造の海岸堤防イメージ図

#### 4. 整備効果

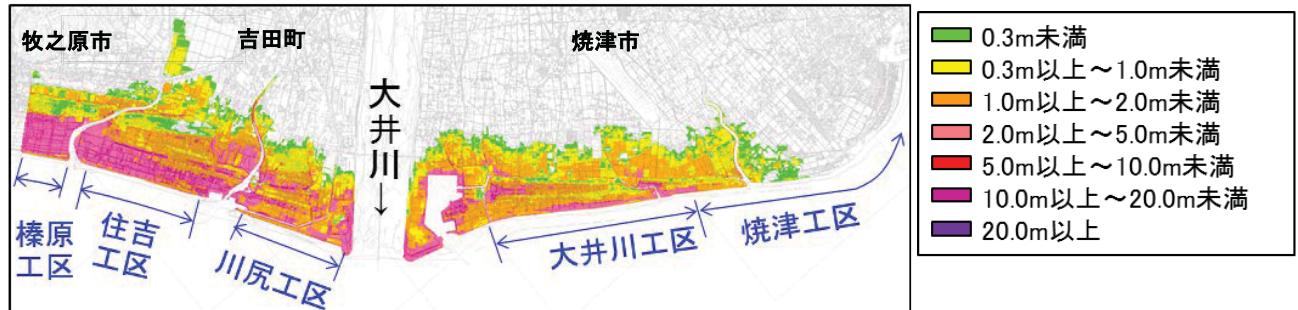
○重点：国民の安心・安全の確保・・・津波被害の軽減

<南海トラフ巨大地震に対する被害が約2～3割減少>

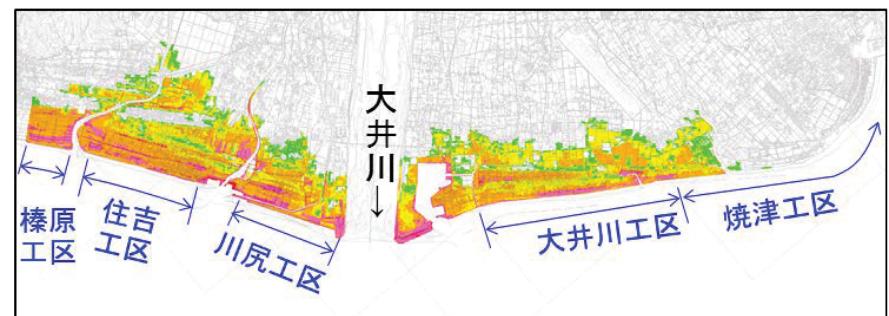
- 南海トラフ巨大地震が発生し、津波が来襲した場合、駿河海岸沿岸における津波による浸水区域内の人口は、約20,300人と想定される。
- 粘り強い構造の海岸堤防を整備することで、津波来襲時における減災効果を発揮し、浸水区域内の人口は、約15,300人まで低減する効果が期待される。

#### 浸水想定区域

##### 現況

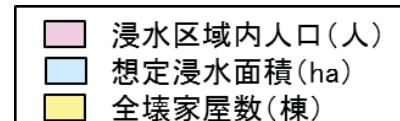
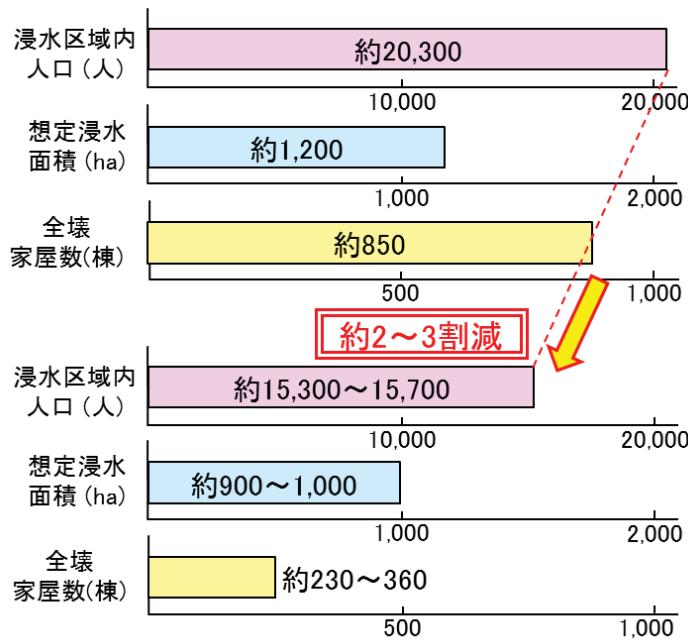


##### 粘り強い構造の海岸堤防整備



堤防の決壊までの時間が、5分程度増加すると仮定した場合

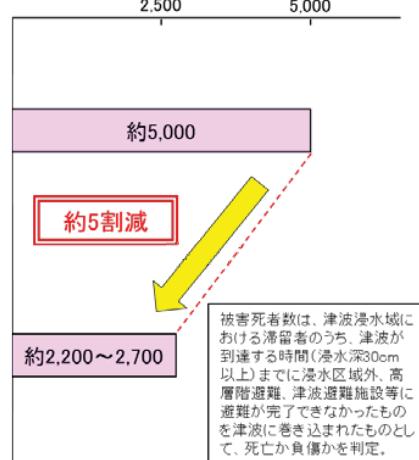
##### 期待される被害軽減効果



※想定被害者数は最大5割減少も

想定被害者数(想定死者数) (人)

2,500 5,000



※各想定被害は、津波シミュレーションを用いて榛原工区～焼津工区の被害軽減効果を算出

## ゆい 由比地区直轄地すべり対策事業

平成30年度当初：17.6億円

### 1. 概要

由比 地区には日本の大動脈（東名高速道路、国道1号、JR東海道本線）が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。

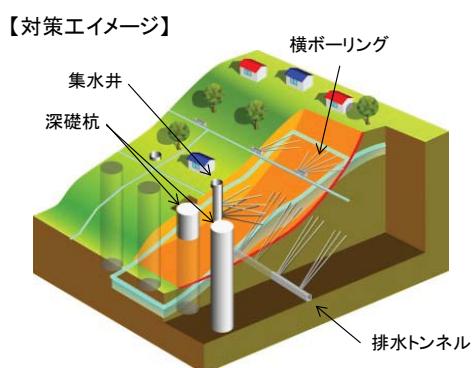


### 2. 事業箇所

静岡県 静岡市 清水区 由比 西倉沢

### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

- ・引き続き、排水トンネル工、深基礎工を推進



深基礎工



排水トンネル工



○重点：国民の安全・安心の確保、生産性向上による成長力の強化・・・重要交通網

## ■由比地区の事業進捗状況

- ・H28年度末までに集水井・横ボーリング及び大久保排水トンネルが完成しています。
- ・今後、山中排水トンネル、深礎工、鋼管杭の施工を推進します。

## ■由比地区において想定される被害

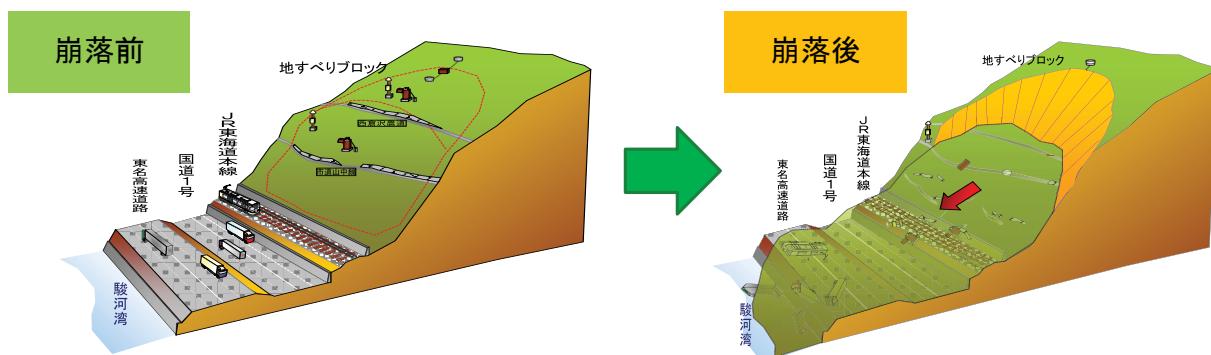
- ・由比地区地すべりの直接被害想定範囲内の施設は地すべり崩落土砂により埋没することが想定されます。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。



## ■重要交通網の交通量

交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約64,000台／日
東名高速道路 平均交通量	約35,000台／日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本／日

重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))



## ■災害発生時の影響

- ・地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



## ■事業効果

- ・日本経済全体への影響が懸念される国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の交通途絶が解消されます。
- ・地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

国道1号 414号 伊豆縦貫自動車道  
 国道474号 三遠南信自動車道  
 国道1号 静清バイパス

平成30年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 72.1億円  
 【三遠南信自動車道】： 177.1億円  
 【静岡県分】： 52.7億円  
 【静清バイパス】： 40.5億円

### 1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約 60km の高規格幹線道路です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約 100km の高規格幹線道路です。
- 静清バイパスは、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、静清都市圏の発展の支援等を目的に計画された道路です。

### 2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道：静岡県沼津市 ~ 静岡県下田市
- 三遠南信自動車道：長野県飯田市 ~ 静岡県浜松市
- 静清バイパス：静岡県静岡市清水区 ~ 静岡市駿河区



### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 伊豆縦貫自動車道 【東駿河湾環状道路（延長 15.0km）】 【天城北道路（延長 6.7km）】  
 【河津下田道路（Ⅱ期）（延長 6.8km）】 【河津下田道路（Ⅰ期）（延長 5.7km）】

- 大平IC～天城湯ヶ島IC（仮称）間（延長 5.1km）の舗装工事等を推進。  
 《平成30年度開通予定》

- 河津IC（仮称）～下田IC（仮称）間（延長 12.5km）の用地買収、橋梁・トンネル工事等を推進。

- 三遠南信自動車道 【佐久間道路・三遠道路（延長 27.9km うち静岡県 13.4km）】  
 【青崩峠道路（延長 5.9km うち静岡県 2.6km）】

- 佐久間IC（仮称）～東栄IC（仮称）間（延長 6.9km）のトンネル舗装工事等を推進。  
 《平成30年度開通予定》

- 小嵐IC（仮称）～水窪北IC（仮称）間（延長 5.9km）のトンネル本坑に着手。

- 静清バイパス 【静岡市清水区興津東町～静岡市駿河区丸子二軒家（延長 24.2km）】  
 牧ヶ谷IC～丸子IC間（延長 3.0km）の舗装工事等を推進。《平成30年度4車線開通予定》



H30年度開通に向け橋梁工事等が進む  
 伊豆縦貫自動車道 天城北道路 狩野川高架橋



H30年度4車線開通に向け舗装工事等が進む  
 静清バイパス 丸子藁科トンネル付近

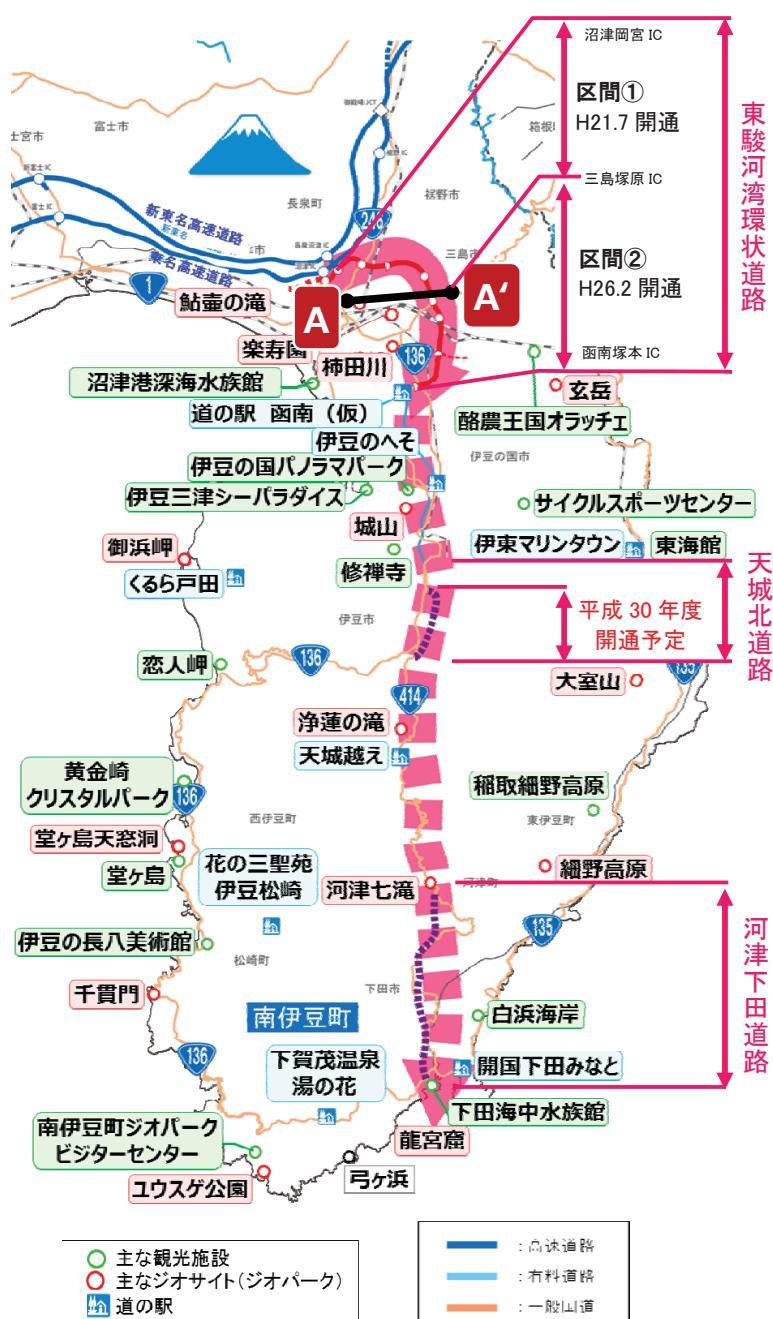
#### 4. 整備効果

○重点：豊かで活力ある地域づくり・・・観光振興の推進

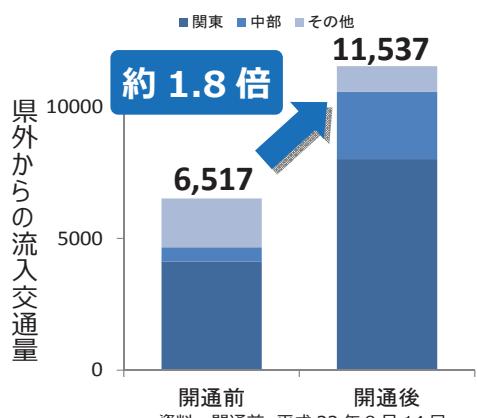
##### 観光ルートの整備により地域の賑わいを創出！！

- 東駿河湾環状道路の開通後、県外からの流入車両が約1.8倍増加
- 高速道路ネットワークが構築された伊豆半島北部地域では、観光来訪者数が約1.6倍に増加
- 伊豆縦貫自動車道の整備により、伊豆半島に点在する観光資源へのアクセスを向上させることで、観光産業の活性化を支援

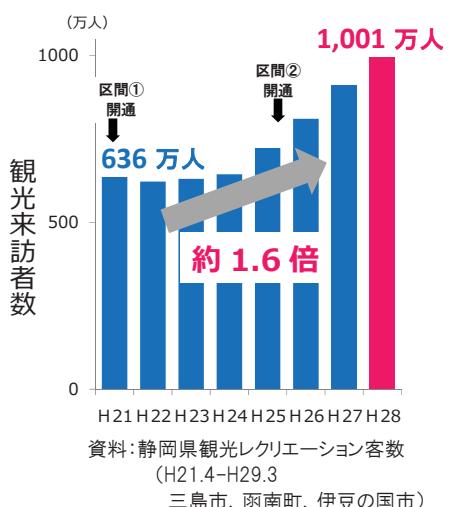
##### ■伊豆半島の観光資源と伊豆縦貫自動車道



##### ■県外からの流入車両の推移 (東駿河湾環状開通前後：A-A' 断面)



##### ■観光来訪者数（伊豆半島北部地域）



出典：南伊豆町観光協会

しみず ひ の で  
**清水港日の出地区岸壁改良事業**

**1. 事業の必要性及び概要**

平成30年度当初：14.6億円

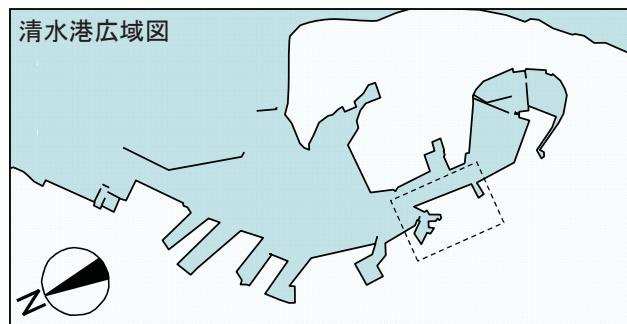
港内の物流機能の再編にあわせて、供用後30年余りが経過し、老朽化が進行している清水港日の出地区的岸壁において、将来にわたり港湾施設として機能を発揮できるよう、老朽化対策を推進します。

**2. 事業箇所**

しづおか  
静岡県静岡市

**3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況**

- 老朽化した岸壁の改良工事を実施します。



#### 4. 整備効果

##### ○重点：生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化

###### ＜新需要の創出＞

「国際旅客船拠点形成港湾」に指定（平成29年7月）された清水港では、日の出地区において、官民が連携して、急増するクルーズ船の受入環境の整備を推進することにより、新需要の創出を図ります。



日の出地区 客船着岸状況

清水港のクルーズ船寄港実績と推計



※2030年の寄港回数は、国際旅客船拠点形成計画及び港湾管理者による試算。

##### ○重点：国民の安全・安心の確保

###### ＜岸壁の老朽化対策＞

- 日の出地区岸壁は、供用から30年余りが経過し、経年劣化が進行していることから、今後の利用を踏まえつつ計画的な老朽化対策が必要になっています。



日の出地区 上部工の劣化状況



日の出地区 床版の劣化状況

# 愛知県

個表一愛1

【事業主体：国】

## やはぎ 矢作ダム再生事業

平成30年度当初：0. 8億円

### 1. 事業の必要性及び概要

矢作川流域には約76万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基礎となっています。中下流部では高速道路や新幹線等の重要交通網が横断するとともに、自動車産業を中心とした工業都市が集中し、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設矢作ダムの放流設備を増設し、洪水調節機能を強化することにより、矢作川下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守ります。

### 2. 事業箇所

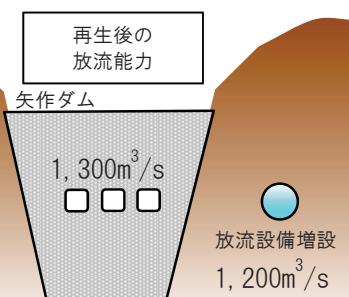
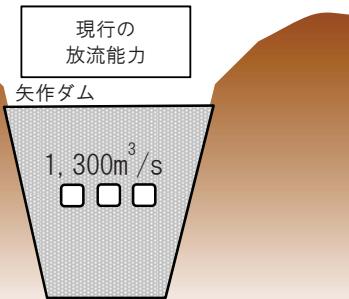
左岸：愛知県豊田市閑羅瀬町

右岸：岐阜県恵那市串原閑羅瀬  
(矢作川水系矢作川)



### 3. 平成30年度予定事業内容

平成30年度より実施計画調査に新規着手し、放流設備配置計画等の検討を実施します。



※現時点における計画を示したものであり、今後、必要に応じて変更することがある。

#### 4. 整備効果

##### ○重点：国民の安全・安心の確保・・・洪水被害の軽減

平成12年9月の秋雨前線及び台風14号による戦後最大洪水（東海（恵南）豪雨）では、計画高水位を上回り堤防の決壊の危険性が高まるとともに、豊田市など一部で越水等により氾濫が発生しました。矢作ダム再生事業と合わせ、下流河川の河道整備により、同程度の規模の洪水が発生しても安全に流下させることができます。



豊田市街地付近の越水氾濫



幼稚園の流失(豊田市(旧旭町))

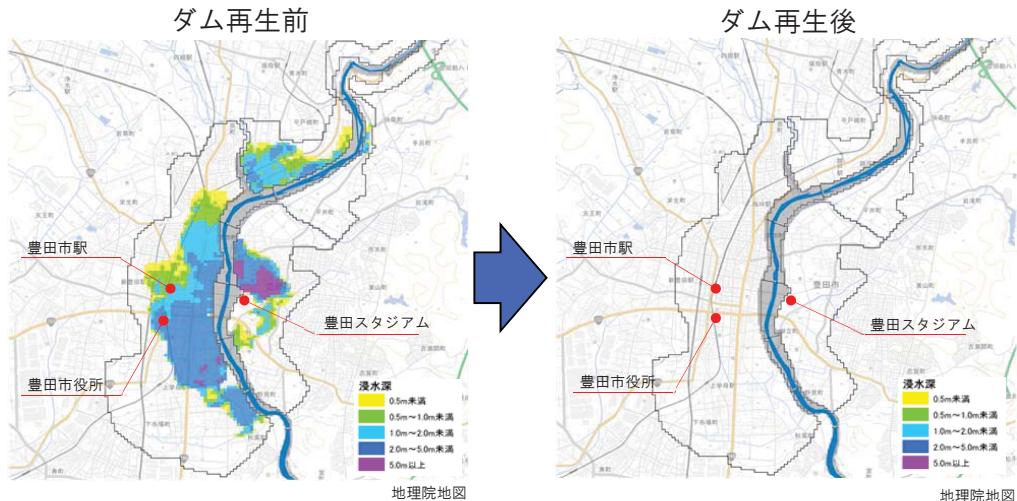


家屋の浸水(豊田市藤沢町)



矢作ダム非常用洪水吐きからの放流

##### 矢作ダム再生事業完成による被害軽減効果（豊田市街地周辺）



平成12年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域（流域全体）

	①ダム再生前	②ダム再生後※	軽減効果(①-②)
浸水世帯数(世帯)	9,200	0	9,200
浸水面積(ha)	570	0	570

※ダム再生のほか、ダム下流河川の河道整備により浸水被害が解消される

したら  
**設楽ダム建設事業**

平成30年度当初： 67.3億円

### 1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、破堤による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらし、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

### 2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町（豊川水系豊川）



### 3. 平成30年度実施予定内容及び現在の実施状況

早期の本体着工に向けて引き続き転流工を整備するとともに、工事用道路、付替道路工事の進捗を図ります。



設楽ダム完成予想図



転流工イメージ図



代替県道設楽根羽線（2号橋上部工）



転流工呑口部

#### 4. 整備効果

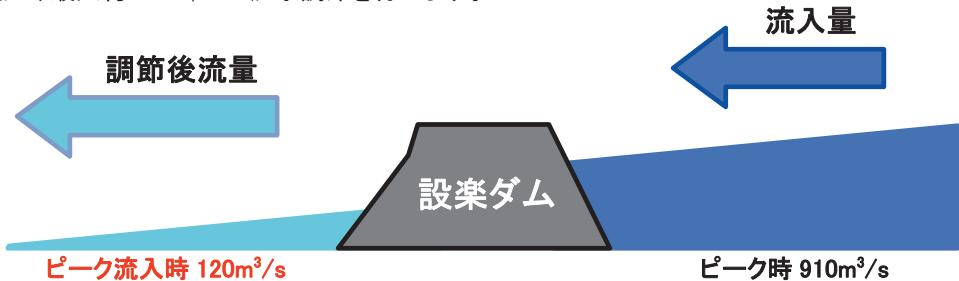
##### ○重点：国民の安全・安心の確保・・・洪水被害の軽減

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m<sup>3</sup>/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となる。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減する。

##### ●ダム地点では

ダム地点で、最大約 790m<sup>3</sup>/s の洪水調節を行います。



##### ●基準地点石田では

流量減少 約 550m<sup>3</sup>/s

水位低下量 約 0.6m

※超過確率1/30 規模とは、毎年1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)である洪水

戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水が発生した場合のイメージ

##### ○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・安定的な水の供給

設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図る。

##### 流況改善前/無水状態



0.0m<sup>3</sup>/s 時の状況  
(大野頭首工下流)

##### 流況改善後/流れのある状況



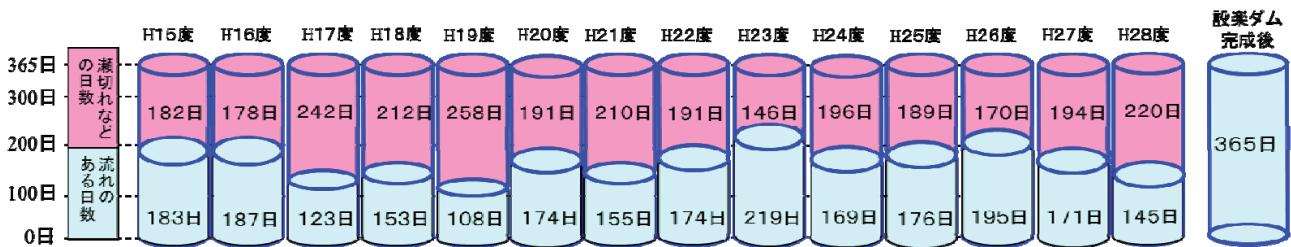
1.3m<sup>3</sup>/s 時の状況(ダム完成後のイメージ)  
(大野頭首工下流)

無水区間の発生など流れの少ない日数: 約200日  
〔近年(H15年度～H28年度)の年平均〕



設楽ダム完成後: 0日\*  
〔設楽ダムを完成後〕

※10年に1回発生する  
規模の渇水を想定



やはぎがわ  
矢作川総合水系環境整備事業【豊田市・白浜地区 水辺整備】

やはぎがわ  
(矢作川水系)

平成30年度当初：1. 9億円

1. 事業の必要性及び概要

矢作川白浜地区は、名鉄豊田市駅を中心とする都心部と集客力の高い豊田スタジアムの間に位置し、観光振興及び地域活性化に向けて高いポテンシャルを有しています。豊田市は、自然豊かな河川空間を活かした水辺整備とまちづくりが連携して、賑わいのある水辺空間の創出を図るために、「矢作川かわまちづくり計画」を策定し、国交省では本年3月に、かわまちづくり支援制度に係る計画として新たに登録しました。

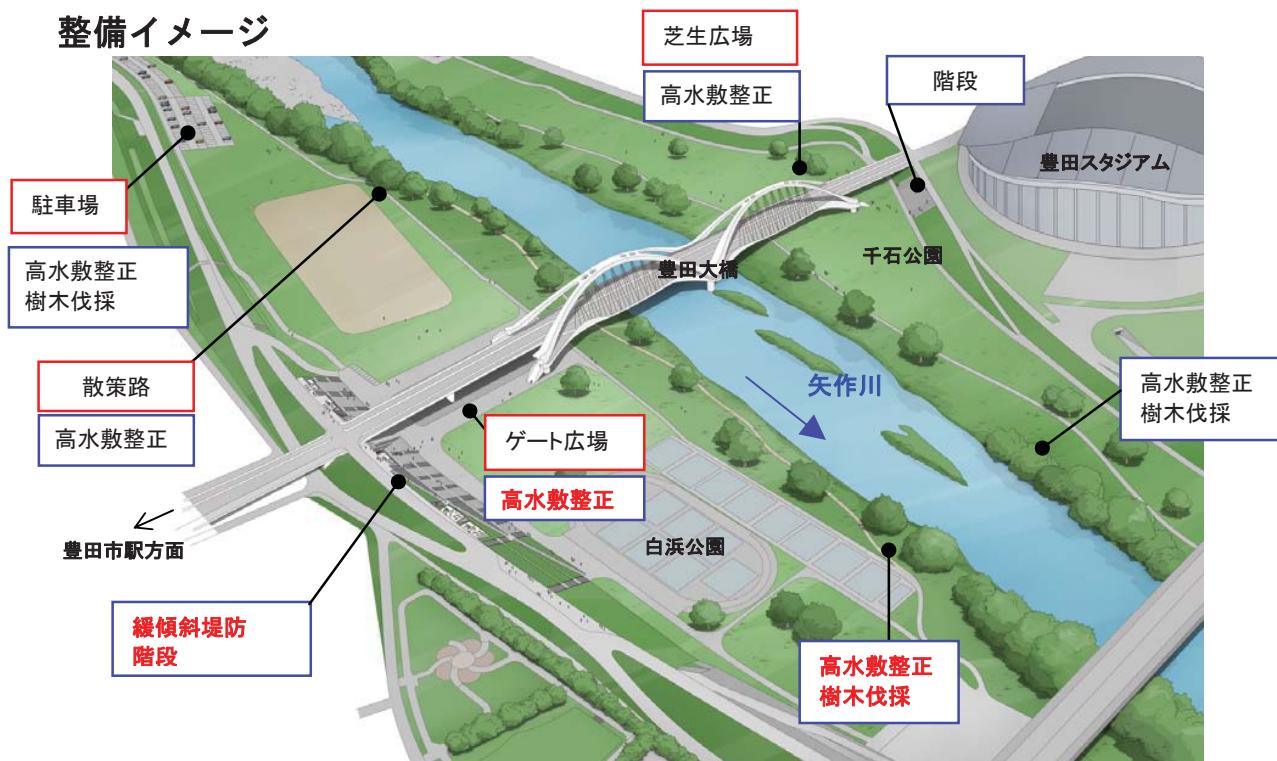
この「かわまちづくり計画」は、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すもので、本計画に基づき、治水上及び河川利用上の安全・安心に向けた河川整備を進めるため、平成30年度より新規事業化し、まちづくりと一体的な水辺整備に新たに着手します。

2. 事業箇所

愛知県豊田市

矢作川総合水系環境整備事業  
白浜地区 水辺整備3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 平成30年度より緩傾斜堤防、階段、高水敷整正、樹木伐採に新規着手

**整備イメージ**

凡 例

市整備内容

国整備内容

赤字は、H30年度に国が整備を予定している実施内容

#### 4. 整備効果

○重点：地域の活性化と豊かな暮らしの実現・・・水辺空間の創出

#### まちと水辺が一体となった魅力ある空間の創出

- 自然豊かな矢作川の河川空間の整備と豊田市が進めるまちづくりと連携することにより、多くの賑わいや良好な水辺空間が創出され、観光振興や地域活性化が期待される。
- 「都市・地域再生等利用区域」を指定することにより、水辺カフェやイベント開催などで民間事業者等とも連携し、さらなる賑わいの創出が期待される。

#### 現在 now

水辺空間の利用における安全性や利便性などの課題



河川敷に繁茂した樹木



日常的な利用状況



水辺を活用したイベント（橋の下世界音楽祭）

豊田市都心から近く、豊田スタジアムと一体となった都心の水辺空間である。  
イベントなどでは、多くの利用客により活用されているが、日常的な利活用においては、  
多様化するニーズへの対応が不足している。

国と市が連携を図り、賑わいのある水辺空間を創出

#### 将来 future



水辺空間の活用イメージ(整備後)

近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)

国道474号 三遠南信自動車道

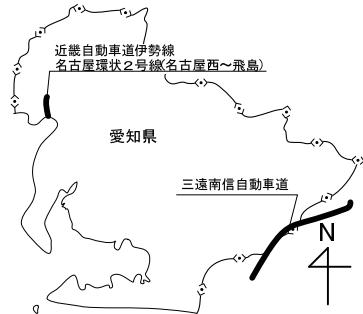
平成30年度当初 【名古屋環状2号線】 : 61.7億円

【三遠南信自動車道】 : 177.1億円

【愛知県分】 : 53.1億円】

**1. 事業の必要性及び概要**

- 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)は、名古屋環状2号線の一部区間として、都市内の渋滞緩和等を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長12.2kmの高速自動車国道です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格幹線道路です。



**2. 事業箇所**

■名古屋環状2号線(名古屋西～飛島) : 名古屋市中川区

■三遠南信自動車道 : 長野県飯田市

～ 愛知県海部郡飛島村

～ 静岡県浜松市

**3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況**

■近畿自動車道伊勢線

【名古屋環状2号線(名古屋西～飛島) (延長12.2km)】

- 名古屋西JCT～飛島JCT(仮称)間(延長12.2km)の橋梁工事等を推進。

《平成32年度開通予定》

■三遠南信自動車道

【佐久間道路・三遠道路 (延長27.9km うち愛知県14.5km)】

- 佐久間IC(仮称)～東栄IC(仮称)間(延長6.9km)の舗装工事等を推進。

《平成30年度開通予定》



H30.2撮影

H32年度開通に向け橋梁工事等が進む  
名古屋環状2号線 木場1丁目付近



H30撮影

H30年度開通に向け改良工事等が進む  
佐久間道路・三遠道路 佐久間IC(仮称)

#### 4. 整備効果

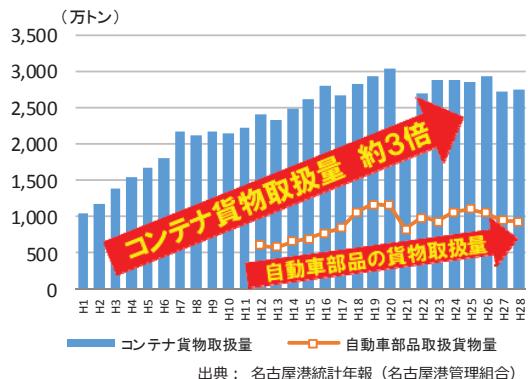
○重点：生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化・・・道路・港湾事業の連携

##### 円滑な物流ネットワークを確保し、生産性の向上を支援！

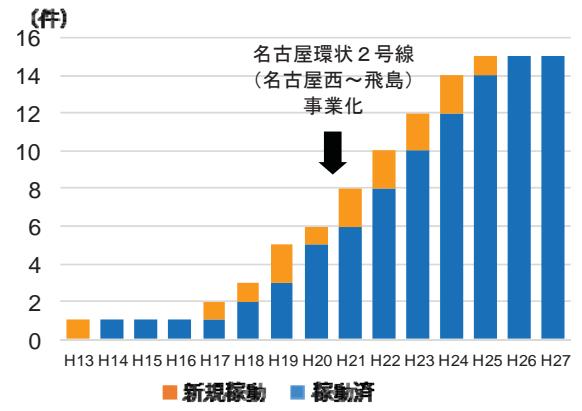
- 名古屋港飛島ふ頭地区のコンテナターミナルの整備により、海外向け自動車部品等のコンテナ貨物取扱量は約3倍に増加
- 名古屋港周辺における物流施設の立地数は増加傾向。名古屋環状2号線（名古屋西～飛島）の整備により、平常時、災害時を問わない、安全かつ円滑な物流ネットワークを確保。平成32年度開通見通し公表後も、最大規模かつ最新設備を備えた大規模物流施設の建設が決定



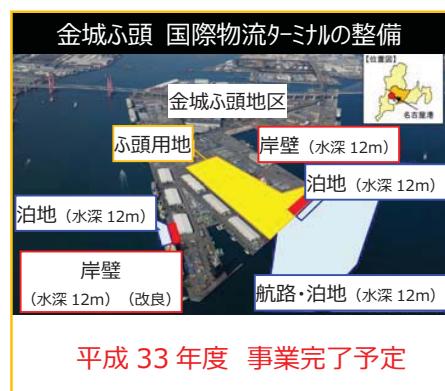
##### ■飛島ふ頭地区のコンテナ貨物取扱量



##### ■物流施設の立地状況（名古屋市・弥富市・飛島村）



##### ■名古屋港におけるふ頭再編改良事業



出典：名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業、名古屋港ふ頭再編改良事業（国土交通省港湾局）を基に作成

なごやとびしま  
**名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業**

**1. 事業の必要性及び概要**

自動車部品や産業機械などの東南アジア向けコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、名古屋港飛島ふ頭地区において、既存施設の老朽化対策とあわせて港湾施設の増深改良を行います。

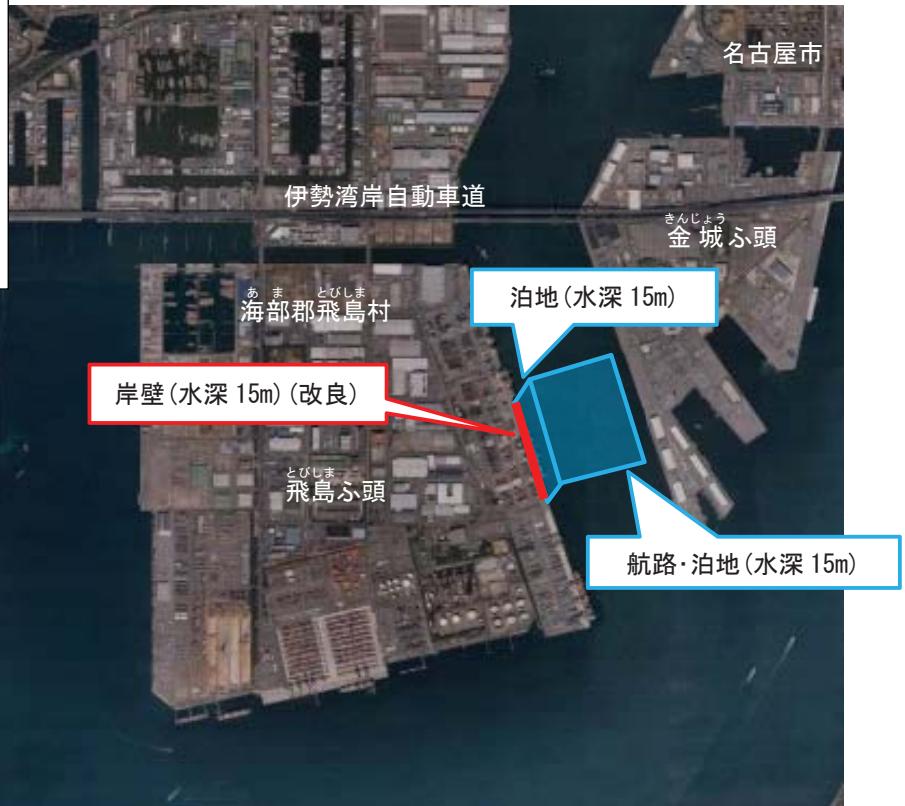
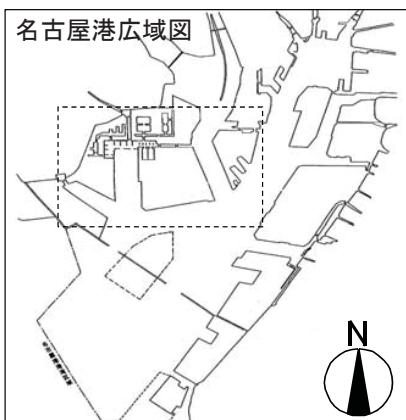
平成30年度当初：27.8億円

**2. 事業箇所**

愛知県海部郡飛島村

**3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況**

引き続き、岸壁の増深改良工事を実施します。

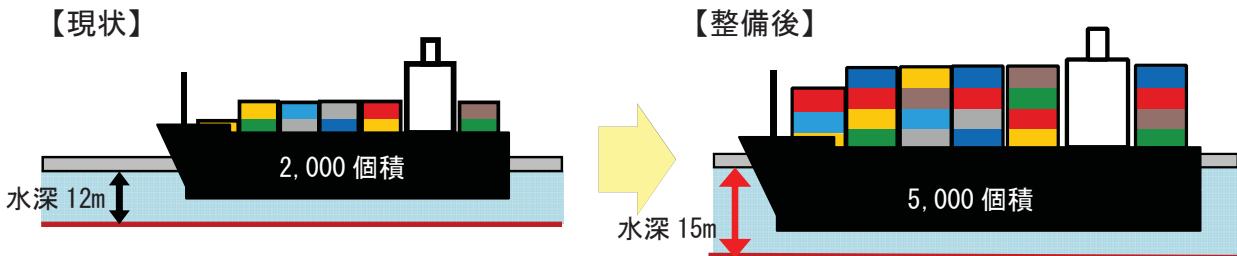


#### 4. 整備効果

○重点：生産性向上による成長力の強化・・・物流の効率化

##### <コンテナ船の大型化への対応>

これまで 2,000 個積コンテナ船の着岸しかできなかつた施設を増深することにより、5,000 個積大型コンテナ船の着岸が可能となり、輸送コストの低減が図られます。



##### <コンテナターミナルの一体利用>

隣接した岸壁と同一の水深 15m まで掘り下げるとともに、ガントリークレーンのレール幅を合わせることで、延長 1,400m のコンテナターミナルとして一体的かつ柔軟な利用が可能となります。



ガントリークレーンのレール幅の違い

# 三重県

## 個表一三 1

【事業主体：国】

### みやがわ せたがわ かわさき 宮川河川改修事業 [勢田川・河崎地区他] (宮川水系)

平成30年度当初：4.5億円

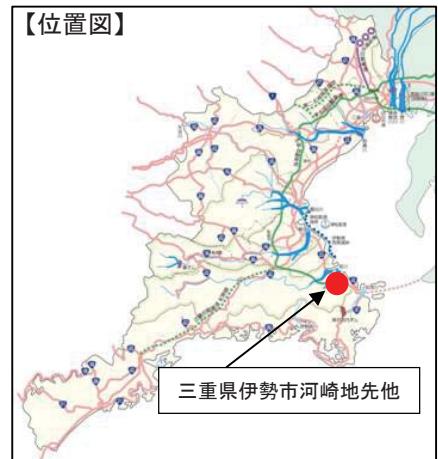
#### 1. 事業の必要性及び概要

宮川水系勢田川が流れる伊勢市では、平成29年台風第21号による豪雨により、内水被害が広範囲にわたり発生し、甚大な被害が発生しました。加えて勢田川では、計画高水位を超過し、伊勢市街地で溢水が発生しました。

内水・溢水による複合的な浸水被害を軽減すべく、伊勢市、三重県、国土交通省が連携した対策を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

このうち国土交通省では、勢田川の流下能力向上のため、河道掘削等を実施していきます。

※現在、伊勢市、三重県、国土交通省の3者で構成する「勢田川流域等浸水対策協議会」を設立しており、対策メニューを検討中。

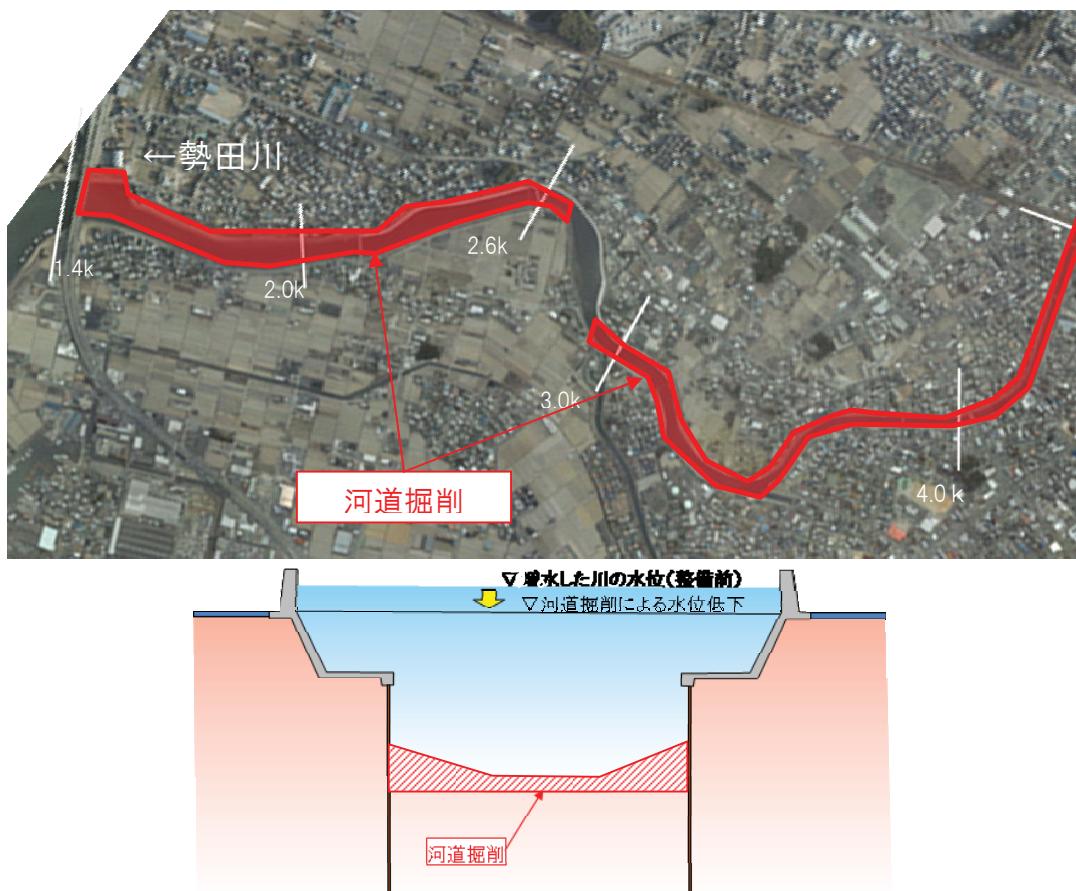


#### 2. 事業箇所

三重県伊勢市

#### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

河道掘削を実施

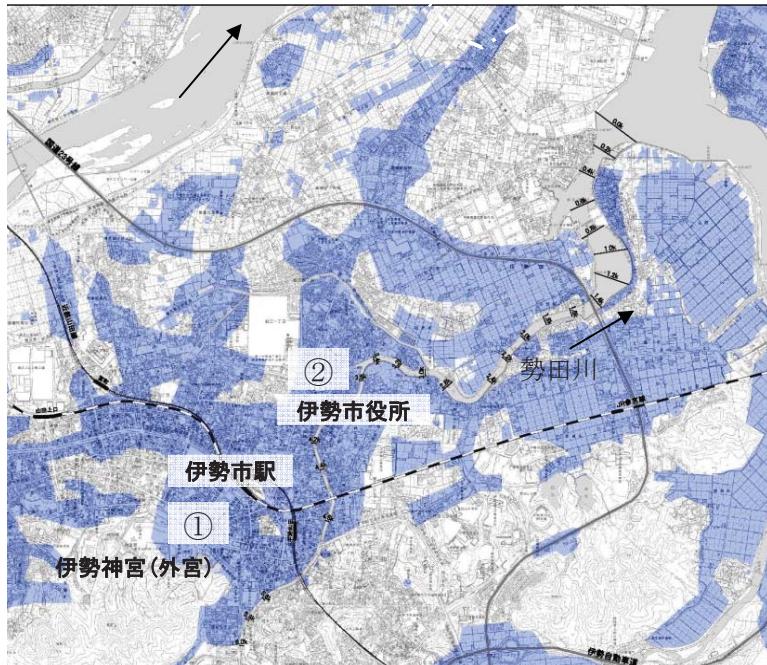


#### 4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・「防災意識社会」への転換に向けた防災・減災対策の推進

河川整備によって、洪水による浸水被害を軽減

□平成 29 年 10 月伊勢市の浸水状況



外宮参道（※伊勢市提供）



八間道路（※伊勢市提供）

浸水状況(平成 30 年 2 月 27 日時点)			
床上浸水	床下浸水	店舗、倉庫等の浸水	合計
408	670	774	1,852

□今回被害を受けた伊勢市は、伊勢神宮が鎮座され、神宮にまつわる歴史的遺産が存在します。また、勢田川沿川は、かつて川を利用した水運により、問屋街として繁栄し、まちづくりについて官民協働で古い町並み保存がされている地域です。

□歴史的遺産や古い町並みを保存していくためにも、浸水被害を防止することにより、地域の安全・安心を向上させ、地域振興にも寄与します。



河川改修等の実施により安全・安心効果が向上。

**国道475号 東海環状自動車道**  
**国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路**  
**国道23号 中勢道路**

平成30年度当初【東海環状自動車道】：478.0億円

【三重県分：152.8億円】

【熊野尾鷲道路Ⅱ期、熊野道路】：50.2億円

【中勢道路】：65.3億円



### 1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの高規格幹線道路です。
- 国道42号熊野尾鷲道路Ⅱ期、熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となって、広域的防災に資する道路ネットワークの強化を目的に計画された一般国道の自動車専用道路です。
- 国道23号中勢道路は、現道23号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保、「中勢北部サイエンスシティ」等の地域開発の支援を目的とする延長33.8kmの道路です。

### 2. 事業箇所

- 東海環状自動車道 : 愛知県豊田市～三重県四日市市
- 国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路 : 三重県尾鷲市、熊野市
- 国道23号中勢道路 : 三重県鈴鹿市～三重県松阪市

### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

#### ■ 東海環状自動車道

【北勢～四日市（延長14.4km）】【養老～北勢（延長18.0km うち三重県9.0km）】

- 大安IC(仮称)～東員IC間（延長6.4km）の橋梁工事等を推進。

《平成30年度開通予定》

#### ■ 国道42号熊野尾鷲道路Ⅱ期、熊野道路

【尾鷲北IC～尾鷲南IC（延長5.4km）】【熊野大泊IC～熊野IC(仮称)（延長6.7km）】

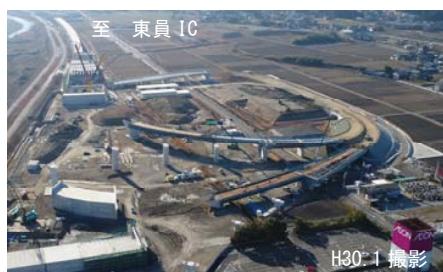
- 尾鷲北IC～尾鷲南IC間（延長5.4km）のトンネル工事等を推進。
- 熊野大泊IC～熊野IC(仮称)（延長6.7km）の用地買収等を推進。

#### ■ 国道23号中勢道路

【鈴鹿市北玉垣町～松阪市小津町（延長33.8km）】

- 鈴鹿市御園町～津市河芸町三行（延長2.9km）の舗装工事等を推進

《平成30年度開通予定》



H30年度開通に向け橋梁工事等が進む  
東海環状自動車道 大安IC(仮称)付近



至 松阪市  
至 四日市市  
H29.12撮影  
H30年度開通に向け橋梁工事等が進む  
中勢道路 御園町付近

#### 4. 整備効果

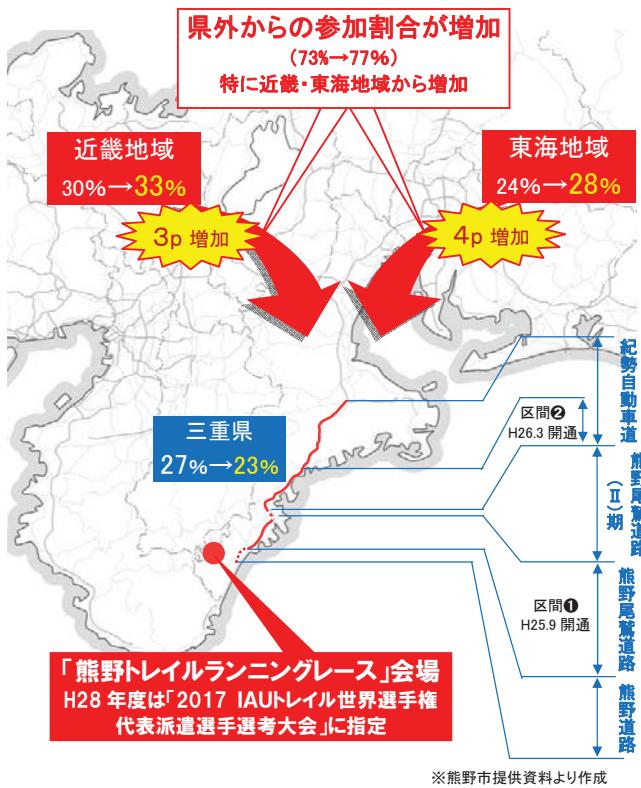
○重点：豊かで活力ある地域づくり・・・地域等との連携による価値・魅力の向上

##### 道路の開通に合わせ、スポーツイベントを開催。

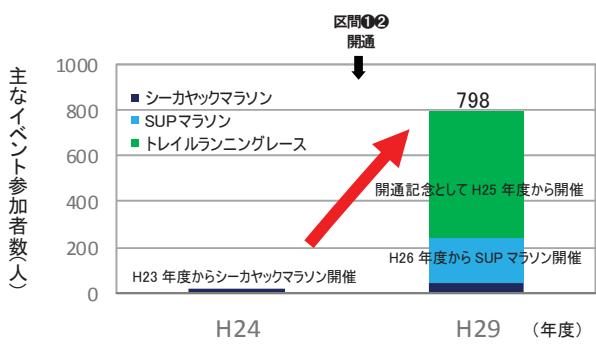
##### 県外地域から約8割参加！市内の宿泊者数も増加！

- 熊野市では熊野尾鷲道路の開通に合わせ、自然体感スポーツイベントを多数開催。自然を体感できるイベントでは、近年参加者が増加傾向
- 「熊野トレイルランニングレース」が世界選手権代表選考大会に指定され、東海、近畿地域からの参加者、熊野市内における同スポーツイベント宿泊者数も増加傾向

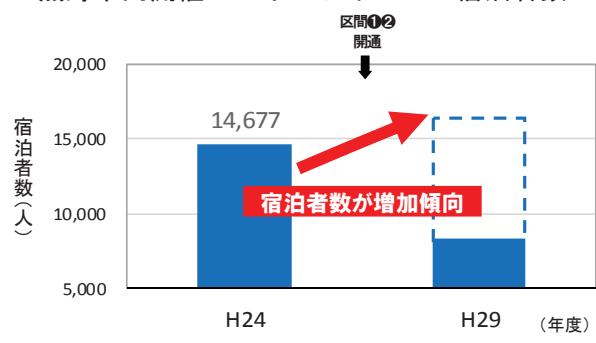
##### ■各地域からの参加者割合 (H27→H29)



##### ■主な自然体感スポーツイベント参加数の変化



##### ■熊野市内開催のスポーツイベント宿泊者数



平成 25 年から熊野尾鷲道路の開通に合わせて、熊野古道トレイルランニングを開始しました。開始後、紀勢自動車道等の整備により、近隣県からの参加が増加しています。また、アクセス性が高まり、遠方からの参加者が増加し、宿泊者も増加し、市内の宿泊施設が活性化するようになっております。



※紀勢国道事務所・熊野市によるヒアリング調査より作成

[ 熊野市地域振興課の声 ]

つまつさか  
**津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業**

**1. 事業の必要性及び概要**

平成30年度当初：11.6億円

つまつさか  
 津松阪港海岸は、整備後50年以上が経過し、老朽化が進行するとともに、天端高さが不足しており、再び高潮による甚大な浸水被害が懸念されています。また、耐震性が不足しており、地震発生時には液状化による沈下の恐れがあり、堤防の改良が必要になっています。

つまつさか  
 このため、津地区（栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）において、堤防の改良を行います。

**2. 事業箇所**つ  
 三重県津市**3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況**

- ・引き続き堤防の老朽化対策及び液状化対策を実施します。



整備前の堤防(栗真町屋2工区)



整備後の堤防(栗真町屋2工区)

#### 4. 整備効果

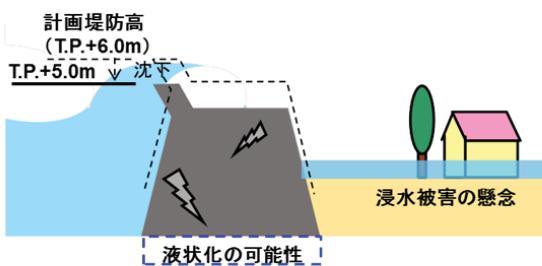
○重点：国民の安全・安心の確保・・・高潮被害の軽減

＜浸水リスクの低減により、背後地域が活性化＞

- ・海岸堤防の計画天端高さを確保し、海岸堤防の機能を維持することで、高潮による背後地域への浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。

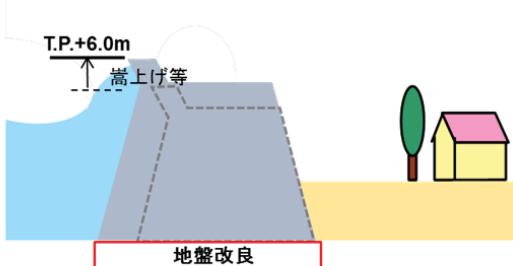
##### 【現状】

- ・天端高不足、堤防劣化による浸水を懸念
- ・地震に伴う液状化を危惧



##### 【整備後】

- ・堤防の機能の確保
- ・背後住民の安全、安心の確保



- ・海岸堤防の整備に合わせて、背後地域の宅地開発が進んでいます。
- ・加えて、背後地域に企業や病院への新たな設備が投資されるなど、周辺地域の活性化が進んでいます。



# 長野県

## 個表一長1

【事業主体：国】

### てんりゅうがわ 天竜川水系 直轄砂防事業

平成30年度当初：35.3億円

#### 1. 概要

天竜川水系では、上流域の荒廃が著しく、今後の出水により土砂・流木の流出が懸念されるため、砂防堰堤（透過型）等の整備を推進することにより、早期に地域の安全性の向上を図ります。



#### 2. 事業箇所

長野県伊那市高遠町藤沢地先ほか

#### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 引き続き透過型砂防堰堤工等を推進



上流域の流木堆積状況



昭和57年 藤沢台町道台川端線の被災状況  
(伊那市高遠町)



流木捕捉効果の高い  
透過型砂防堰堤イメージ

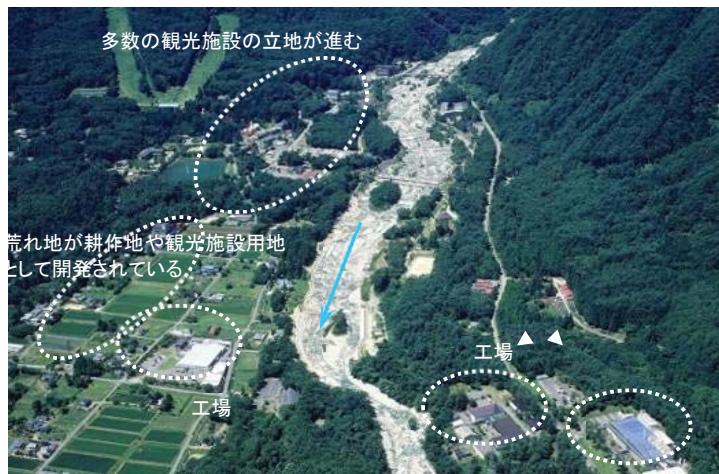
## ○重点：国民の安全・安心の確保・・・総合的な土砂災害対策

### ■事業効果

- ・天竜川水系直轄砂防事業により、家屋約3,300戸、JR飯田線、中央自動車道、国道152号などを土砂・流木災害から保全されます。
- ・これまでの砂防設備整備により、下流の家屋、田畠、工場などへの被害が軽減され、下流域へ流出する土砂を調節することで水の流れが安定的となり、水田、工場等の土地利用が高度化されています。

### ■災害発生時の影響

想定氾濫面積	約38.1km <sup>2</sup>
想定氾濫区域内人口	約9,700人
想定被害家数	約3,300戸
主要公共施設等	JR飯田線、中央自動車道、国道152号・153号・361号・418号、中学校3、小学校5、発電所6他
災害時要配慮者利用地施設	知的障害者援護施設2、児童福祉施設6、老人福祉施設10、身体障害者更生援護施設5、医療提供施設3他



砂防施設整備により水田、工場等の土地利用が高度化（駒ヶ根高原）



透過型の堰堤により、大量の流木と土砂を捕捉（伊那市長谷）

**国道474号 三遠南信自動車道**

**国道153号 伊南バイパス**

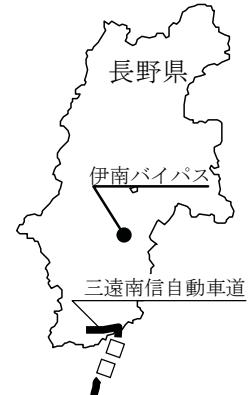
平成30年度当初【三遠南信自動車道】：177.1億円

【長野県分】：71.3億円

【伊南バイパス】：17.7億円

### 1. 事業の必要性及び概要

- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格幹線道路です。
- 国道153号伊南バイパスは、現道153号の線形改良、駒ヶ根市の交通渋滞の緩和及び新たな市街地形成を担う骨格道路として計画された延長9.2kmの道路です。



### 2. 事業箇所

■三遠南信自動車道  
■伊南バイパス

：長野県飯田市～静岡県浜松市

：長野県上伊那郡飯島町～長野県駒ヶ根市

### 3. 平成30年度事業予定内容及び現在の実施状況

#### ■三遠南信自動車道

【飯喬道路（延長22.1km）】【青崩峠道路（延長5.9kmうち長野県3.3km）】

- 天龍峡IC～龍江IC間（延長4.0km）の橋梁工事等を推進。

《平成31年度開通予定》

- 小嵐IC（仮称）～水窪北IC（仮称）間（延長5.9km）のトンネル本坑に着手。

#### ■伊南バイパス【長野県上伊那郡飯島町田切～長野県駒ヶ根市赤穂（延長1.8km）】

- 上伊那郡飯島町田切～駒ヶ根市赤穂市場割間（延長1.8km）の橋梁工事等を推進。

《平成30年度開通予定》



H29.12撮影



H29.12撮影

H31年度開通に向けた橋梁工事の状況

飯喬道路 天龍峡大橋

H30年度開通に向けた橋梁工事の状況

伊南バイパス 田切4号橋

#### 4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・広域防災ネットワークの構築

#### 広域防災ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路が脆弱
- 三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、災害に強い道路の整備により**広域防災ネットワークが構築**

#### ■北遠・奥三河地域と下伊那地域の広域防災ネットワーク



## 富士山 直轄砂防事業

平成30年度当初：24.4億円

(静岡県分：22.2億円、山梨県分：2.2億円)

### 1. 概要

富士山は、3,200年間で135回の噴火を繰り返し、溶岩やスコリア等の脆弱な火山噴出物で構成されており土砂災害の危険性が高いことから、降雨に起因する土砂災害対策を進めるとともに、平成30年度より火山噴火に起因する土砂災害対策に着手します。  
(新たに山梨県側においても事業着手)  
計画的に遊砂地の整備等を実施し、下流市街地等の安全性の向上を図ります。



### 2. 事業箇所

しづおかんふじのみやし ふじし やまなしけんふじよしだし  
静岡県富士宮市、富士市、山梨県富士吉田市ほか

### 3. 平成30年度事業予定内容

- ・遊砂地工等の整備を推進
- ・緊急減災対策工（既設の砂防堰堤の除石等）を推進



ふじよしだし  
山梨県富士吉田市周辺の状況  
平成30年度より新たに山梨県側において事業着手



ふじのみやし  
静岡県富士宮市周辺の状況



宮川堰堤 緊急減災対策工（富士吉田市）



くらほねさわゆうさちこう  
鞍骨沢遊砂地工 施工箇所（富士宮市）

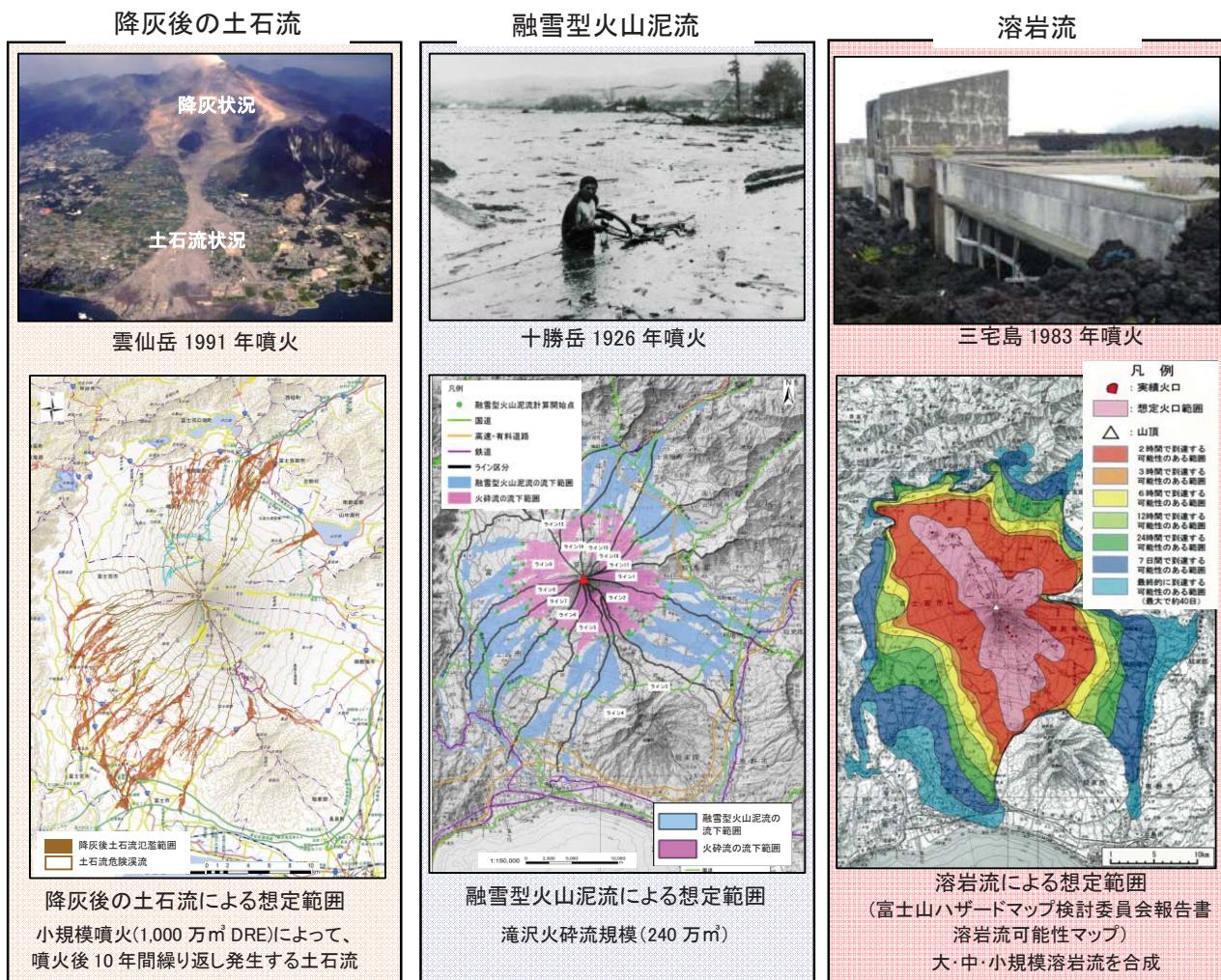
## ○重点：国民の安全・安心の確保・・・総合的な土砂・火山災害対策の推進

富士山では平成30年度以降、降雨に起因する土砂災害対策(降雨対策)に加えて、火山噴火に起因する土砂災害対策(噴火対策)を実施します。

○降雨に起因する土砂災害対策(降雨対策) ① 土砂・洪水氾濫  
② 土石流

○火山噴火に起因する土砂災害対策(噴火対策) ① 降灰後の土石流 (基本対策 + 緊急対策)  
② 融雪型火山泥流 (緊急対策)  
③ 溶岩流 (緊急対策)

### ■火山噴火対策の概要



### ■災害発生時の影響

	降雨に起因する土砂災害 (土石流、土砂・洪水氾濫)	火山噴火に起因する土砂災害 (降灰後の土石流)
想定氾濫面積	約69.8km <sup>2</sup>	約76.0km <sup>2</sup>
想定被害家屋数	約20,000戸	約24,000戸
主要公共施設等	東名高速道路、新東名高速道路、東富士五湖道路、JR 東海道新幹線、JR 東海道本線、JR 身延線、富士急行河口湖線、富士急行大月線、岳南鉄道、国道1号、国道138号、国道139号、国道246号、国道469号	
要配慮者 利 用 施 設	老人福祉施設46、病院69 小学校11、中学校5、幼稚園5、保育園3	児童福祉施設1、老人福祉施設52、病院48、知的障害者支援施設2、小学校11、中学校4、幼稚園11、保育園12

### ■事業効果

施設整備により、土石流などの土砂移動を砂防施設で抑制し、下流域の家屋、工業団地、交通網などに対する被害を軽減しています。

## 個表一施1

【事業主体：国】

### 社会全体での水害被害軽減対策 (水防災意識社会再構築ビジョン)

#### 1. 施策の必要性及び概要

平成27年9月の関東・東北豪雨では、広範囲な浸水、堤防近傍の家屋の倒壊、避難の遅れのため多数の孤立者が発生するなど多くの課題が明らかになりました。

堤防整備等のハード対策と併せ、「施設だけでは守り切れない大洪水は必ず発生する」との認識を社会全体で共有する様々な取り組みを、平成32年度を目指して進めています。

#### 2. 取り組み事例

##### 必ず発生する大洪水に備える！

###### 要配慮者利用施設における避難訓練



こども園の避難訓練

###### 関係機関が連携した水防演習



狩野川での水防演習

###### 消防団と意見交換



自治体、消防団との意見交換

緊急時の連携・相互協力体制を強化

##### 水防災意識を啓発！

###### 小学校へ出前講座



国交省職員による授業を実施後、避難訓練を実施

防災の関心を向上

###### 小学校等と共同で防災教育の教材を作成



作成した教材を活用し、教員がわかりやすく伝える

普段の授業で防災教育が可能に

###### 市長へ防災教育冊子を寄贈



浜松市長への寄贈

防災知識を地域へ

###### 首長・住民との合同点検



首長参加による合同点検

避難に資する判断材料の提供

###### 住民に対する防災講演



定期的な防災セミナーの開催

住民の主体的避難を促進

###### 防災シンポジウムを開催



防災のプロ(学識者)による講演会

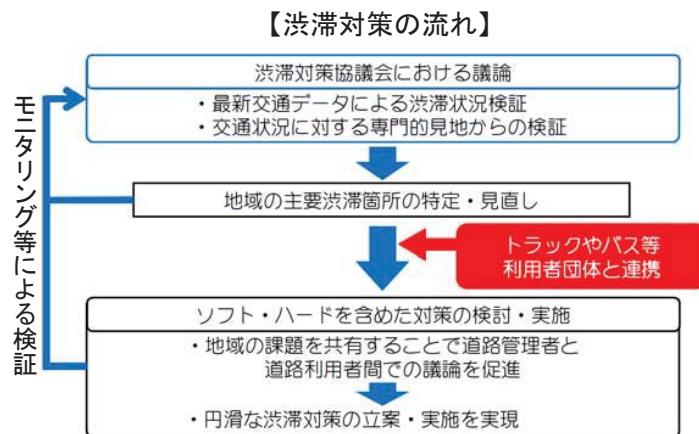
過去の経験を未来に継承

## トラック・バス渋滞ポイントにおける対策

## 1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。



## 2. 主な事業箇所・事業内容

国道 156 号 入舟町 5 交差点(岐阜県 岐阜市)



«右折レーンの延伸を予定»

国道 1 号 安新歩道橋交差点 (静岡県 浜松市)



«左折レーンの2車線化を予定»

国道 22 号 両郷町交差点 (愛知県 一宮市)



«左折レーンの延伸を予定»

国道 23 号 市場庄町交差点 (三重県 松阪市)



«右折レーンの延伸を予定»

## 平成30年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

### 【主な調査箇所】

#### 都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県 三遠南信自動車道 水窪北～佐久間  
静岡県 伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島～河津

#### 概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

長野県 国道153号 飯田南道路  
静岡県・愛知県 浜松三ヶ日・豊橋道路  
※調査が進捗した後に、概略ルート・構造の検討に着手予定

国道1号浜松バイパスについては、交通状況を踏まえ、静岡県・浜松市と連携し、整備方針(平面、立体)を検討するための調査を実施します。

名岐道路については、愛知県・岐阜県にまたがる広域的な道路ネットワークとしての具体化に向け、道路構造や整備手法等の検討を推進します。

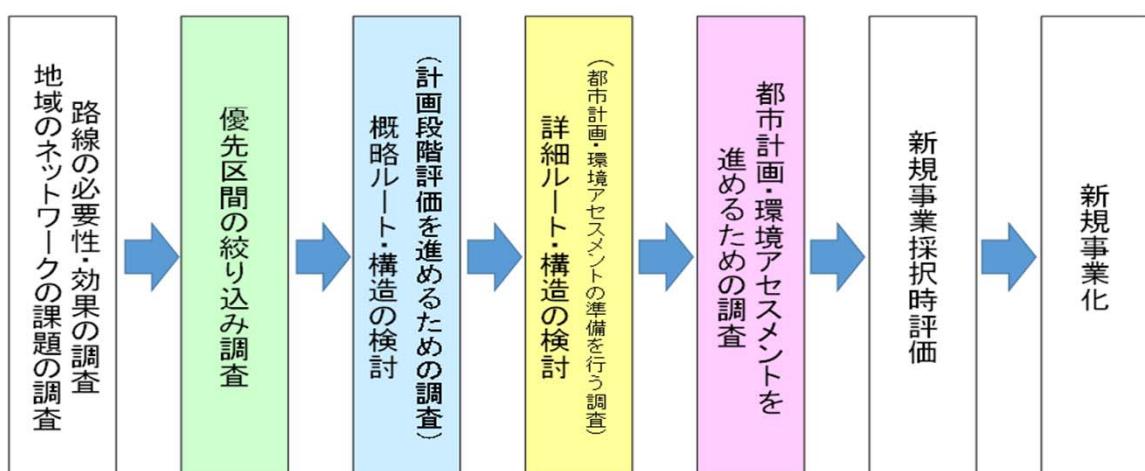
近畿自動車道紀勢線 紀宝～熊野については、実施環境整備として詳細なルート・構造を決定するための現地調査等を推進します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

### <道路調査の流れ>



## 5. 県別の整備箇所事例一覧

- 岐阜県内の整備箇所事例 · · · · · P. 51
- 静岡県内の整備箇所事例 · · · · · P. 52
- 愛知県内の整備箇所事例 · · · · · P. 53
- 三重県内の整備箇所事例 · · · · · P. 54
- 長野県・山梨県内の整備箇所事例 · · · · · P. 55

## 5. 県別の主な整備箇所一覧

### 【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業 主体	H30当初 配分額	
河川 関係	庄内川河川改修事業(多治見市 青木地区 付替河川整備)	国	2.8億円	H30完成予定
	木曽川下流河川改修事業(海津市 田鶴地区 築堤護岸 他)	国	6.4億円	田鶴地区 H31完成予定
	木曽川上流河川改修事業(瑞穂市 扇川遊水地地区 河道掘削 他)	国	32.1億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(可児市 可児地区 水辺整備 他)	国	0.3億円	
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市、土岐市 庄内川上流部地区 自然再生)	国	0.2億円	
	新丸山ダム建設事業	国	79.6億円	
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 人ヶ洞砂防堰堤 他)	国	7.1億円	
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 日向川砂防堰堤 他)	国	4.4億円	日向川砂防堰堤 H30完成予定
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 高知谷第1砂防堰堤 他)	国	14.9億円	
	国道158号 中部縦貫自動車道	国	39.2億円	
道路 関係	国道475号 東海環状自動車道	国	325.2億円	H31※1/H36 ※2 一部開通予定
	国道41号 高山下呂連絡道路 石浦バイパス	国	23.1億円	H32 一部開通予定
	国道19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)	国	8.6億円	
	国道19号 瑞浪恵那道路(恵那工区)	国	0.5億円	H30 新規事業化
	国道41号 上麻生防災	国	0.8億円	H30 新規事業化
	国道41号 屏風岩改良	国	0.4億円	
	国道41号 門原防災	国	1.7億円	
	国道41号 船津割石防災	国	1.7億円	
	国道156号 岐阜東バイパス	国	3.0億円	
	国道156号 大和改良	国	1.1億円	
公園 関係	国道19号 岐阜19号 交差点改良等(恵那大橋西交差点改良)	国	0.36億円	H30 新規事業化
	国道19号 岐阜19号 交差点改良等(富士見地区交差点改良)	国	0.15億円	H30 新規事業化
	国道156号 岐阜156号 交差点改良等(下松森交差点改良)	国	0.09億円	H30 新規事業化
	国道41号 岐阜41号 交差点改良等(奥田洞歩道設置)	国	0.81億円	H30 新規事業化
	国道41号 冬頭電線共同溝	国	0.3億円	H30 新規事業化
官庁 営繕 関係	国道258号 大垣電線共同溝	国	1.5億円	H30 新規事業化
	(市)坂下98号線 乙姫大橋修繕代行事業(中津川市)	国	0.8億円	H30 新規事業化
注1)	記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。			
注2)	県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。			
注3)	計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。			
※1)	予算状況等により開通時期が遅れることがあります。			
※2)	財投活用による整備加速予定箇所（用地取得等が順調な場合）			

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。

注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。

注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

※1) 予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

※2) 財投活用による整備加速予定箇所（用地取得等が順調な場合）

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業 主体	H30当初 配分額	
河川 関係	かののがわ 犬野川河川改修事業(沼津市 下河原地区 築堤護岸 他)	国	10.3億円	下河原地区、大平地区 H30完成予定
	あべかわ 安倍川河川改修事業(静岡市 牛妻地区 築堤護岸 他)	国	6.0億円	牛妻地区 H30完成予定
	おおいがわ 大井川河川改修事業(島田市 神座地区 河道掘削 他)	国	5.5億円	
	きくがわ 菊川河川改修事業[菊川市 下内田地区 防災ステーション整備 他]	国	2.6億円	下内田地区防災ST H30新規箇所
	てんりゅうがわ 天竜川下流河川改修事業(浜松市 河輪地区 河道掘削)	国	2.4億円	
	かののがわ 犬野川総合水系環境整備事業(清水町 柿田地区 自然再生 他)	国	0.6億円	
	おおいがわ 大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	1.5億円	
	てんりゅうがわ 天竜川ダム再編事業	国	4.8億円	
	かののがわ 犬野川水系直轄砂防事業(伊豆市 鹿群山砂防堰堤 他)	国	5.9億円	
	ふじさん 富士山直轄砂防事業(富士宮市 鞍骨沢遊砂地工 他)	国	22.2億円	
	あべかわ 安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	6.0億円	
	ゆい 由比地区直轄地すべり対策事業	国	17.6億円	
道路 関係	いす 国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	72.1億円	H30 一部開通予定
	さんえんなんしん 国道474号 三遠南信自動車道	国	52.7億円	H30 一部開通予定
	しづおかとうざい 国道1号 静岡東西道路 静清バイパス	国	40.5億円	H30 一部開通予定
	ささはるやまなか 国道1号 笹原山中バイパス	国	17.4億円	H31開通予定
	ひがしするがわんかんじょう ぬまづおかのみや あしたか 国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	3.0億円	
	ふじえだ 国道1号 藤枝バイパス	国	2.7億円	
	しまだかなや 国道1号 島田金谷バイパス	国	15.7億円	
	すはしり 国道138号 須走道路	国	17.8億円	
	こてんぱ 国道138号 御殿場バイパス(西区間)	国	25.8億円	
	ふじ 国道139号 富士改良	国	3.0億円	
	しづおか あおいにし 国道1号 静岡1号 交差点改良等(葵西地区自転車空間整備)	国	2.37億円	
	しづおか みやかわ 国道139号 静岡139号 交差点改良等(宮川町交差点事故対策)	国	0.03億円	H30 新規事業化
	しづおか あんしん 国道1号 静岡1号 交差点改良等(安新歩道橋交差点改良)	国	0.24億円	H30 新規事業化
港湾 関係	しづおか おやまうえの 国道246号 静岡246号 交差点改良等(小山上野地区視距改良)	国	3.09億円	
	くによした 国道1号 国吉田電線共同溝	国	3.8億円	
	すはしり 国道138号 須走電線共同溝	国	0.1億円	H30 新規事業化
	しみず おきつ 清水港興津地区岸壁改良事業	国	2.5億円	
海岸 関係	しみず ひで 清水港日の出地区岸壁改良事業	国	14.6億円	
	おまえざき めいわ 御前崎港女岩地区防波堤整備事業	国	7.6億円	
	しもだ 下田港防波堤整備事業	国	5.4億円	
官庁 営繕 関係	ふじ 富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	14.2億円	
	するが 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	7.9億円	
注1)	記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。			
注2)	県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。			
注3)	計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。			

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業 主体	H30当初 配分額
河川 関係	豊川河川改修事業(豊橋市 牛川地区 用地取得 他)	国	2.8億円
	矢作川河川改修事業(安城市 川島地区 築堤護岸 他)	国	7.6億円
	庄内川河川改修事業(名古屋市 打出地区 河道掘削 他)	国	19.4億円
	木曽川下流河川改修事業(弥富市 前ヶ須地区 水門改築)	国	3.5億円
	木曽川上流河川改修事業(稻沢市 拾町野地区 高水敷整備 他)	国	3.1億円
	豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.3億円
	矢作川総合水系環境整備事業(豊田市 白浜地区 水辺整備 他)	国	2.1億円
	木曽川総合水系環境整備事業(一宮市 東加賀野井地区 自然再生 他)	国	3.2億円
	矢作ダム再生事業	国	0.8億円
	したら設楽ダム建設事業	国	67.3億円
道路 関係	近畿自動車道伊勢線 名古屋環状2号線(名古屋西～飛島)	国	61.7億円
	国道474号 三遠南信自動車道	国	53.1億円
	国道23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	3.0億円
	国道23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	34.7億円
	国道247号 西知多道路 西知多道路(東海ジャンクション)	国	7.5億円
	国道1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	4.5億円
	国道41号 名濃バイパス	国	17.0億円
	国道153号 豊田北バイパス	国	24.6億円
	国道153号 伊勢神改良	国	7.4億円
	国道155号 豊田南バイパス	国	9.5億円
	国道302号 名古屋環状2号線	国	41.6億円
	国道153号 愛知153号 交差点改良等(小田木歩道整備)	国	0.30億円
	国道19号 愛知19号 交差点改良等(桜通事故対策)	国	0.09億円
	国道22号 愛知22号 交差点改良等(堀越交差点改良)	国	0.42億円
	国道23号 愛知23号 交差点改良等(鳥居交差点改良)	国	0.39億円
	国道302号 愛知302号 交差点改良等(松河戸町北交差点事故対策)	国	0.36億円
港湾 関係	岡崎康生電線共同溝	国	1.9億円
	岡崎朝日町電線共同溝	国	1.4億円
	守山電線共同溝	国	2.7億円
	国道22号 一宮三ツ井電線共同溝	国	0.8億円
公園 関係	鳴海Ⅲ共同溝、緑地共同溝	国	8.8億円
	名古屋港ふ頭再編改良事業	国	28.0億円
	名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業	国	27.8億円
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	3.7億円
官庁 営繕 関係	衣浦港中央ふ頭西地区岸壁良事業	国	0.7億円
	国営木曽三川公園（国営公園整備事業） 〔ワイルドネイチャーブラザ 等〕	国	0.3億円
	名古屋第2国税総合庁舎(空調設備改修)	国	1.1億円
	名古屋港湾合同庁舎(屋根改修)	国	0.6億円
	愛知県警察学校(天井耐震改修)	国	0.4億円

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。

注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。

注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H30当初 配分額
河川 関係	木曽川下流河川改修事業(桑名市 鎌ヶ池地区 耐震対策 他)	国	20.2億円
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 河道掘削 他)	国	6.0億円 <span style="background-color: #f0e68c; color: black;">塩浜地区 H32完成予定</span>
	雲出川河川改修事業(津市 島賀地区 河道掘削 他)	国	6.3億円
	櫛田川河川改修事業(松阪市 清水地区 築堤護岸)	国	1.5億円 <span style="background-color: #f0e68c; color: black;">清水地区 H32完成予定</span>
	宮川河川改修事業(伊勢市 河崎地区外 河道掘削 他)	国	4.5億円
	櫛田川総合水系環境整備事業(松阪市 東黒部地区 自然再生)	国	0.2億円
道路 関係	国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	国	43.2億円
	国道42号 熊野道路	国	7.0億円
	国道475号 東海環状自動車道	国	152.8億円 <span style="background-color: #f0e68c; color: black;">H30/H36 ※ 一部開通予定</span>
	国道1号 桑名東部拡幅	国	9.4億円
	国道1号 北勢バイパス	国	31.0億円
	国道23号 中勢道路	国	65.3億円 <span style="background-color: #f0e68c; color: black;">H30 一部開通予定</span>
	国道42号 松阪多気バイパス	国	5.3億円
	国道1号 三重1号 交差点改良等(川合町交差点改良事業)	国	0.09億円 <span style="background-color: #a6c9e9; color: black;">新規事業化</span>
	国道1号 三重1号 交差点改良等(北勢地区交差点改良事業)	国	1.41億円 <span style="background-color: #a6c9e9; color: black;">新規事業化</span>
	国道42号 三重42号 交差点改良等(御浜紀宝地区自転車通行空間整備)	国	1.89億円 <span style="background-color: #a6c9e9; color: black;">新規事業化</span>
	国道25号 三重25号 交差点改良等(板屋IC改良)	国	2.28億円
	国道1号 四日市日永電線共同溝	国	2.3億円
港湾 関係	四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業	国	36.0億円
	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	11.6億円
公園 関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) [桑名七里の渡し公園 等]	国	1.6億円

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。

注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。

注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

※ 財投活用による整備加速予定箇所（用地取得等が順調な場合）

### 【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H30当初配分額
河川 関係	天竜川上流河川改修事業(飯田市 鶯流嶺地区 築堤護岸 他)	国	9.6億円
	天竜川総合水系環境整備事業(飯田市、駒ヶ根市、喬木村、高森町、豊丘村 天竜川地区 自然再生)	国	0.1億円 <span style="background-color: #f0e68c;">H33完成予定</span>
	三峰川総合開発事業	国	10.6億円
	天竜川水系直轄砂防事業(伊那市 一長沢砂防堰堤 他)	国	35.3億円
	木曽川水系直轄砂防事業(大桑村 越百川第3砂防堰堤 他)	国	14.7億円
道路 関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	71.3億円 <span style="background-color: #f0e68c;">H31一部開通予定</span>
	国道19号 数原改良	国	1.5億円
	国道19号 桜沢改良	国	12.8億円
	国道153号 伊南バイパス	国	17.7億円 <span style="background-color: #f0e68c;">H30全線開通予定</span>
	国道19号 長野19号 交差点改良等(数原交差点改良)	国	1.47億円
	国道19号 長野19号 交差点改良等(伊奈川橋交差点改良)	国	0.12億円 <span style="background-color: #a6c9e9;">H30新規事業化</span>

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。  
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。  
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

### 【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	H30当初配分額
河川 関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市 宮川緊急減災対策工 他)	国	2.2億円 <span style="background-color: #a6c9e9;">H30新規箇所</span>

注1) 記載事業は、国庫債務負担行為（ゼロ国債）を除く。  
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のH30当初配分額が記載されています。  
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

